

# alicセミナー受講にあたってのお願い

- ◆セミナー中の写真撮影、録画、録音等の保存行為につきましてはご遠慮いただきますようお願いいたします。
- ◆ご登録いただいたアドレスは、alicセミナーの開催以外の目的で利用いたしません。
- ◆セミナー後は、アンケートにご協力をお願いします。
- ◆講演中は、カメラ、マイクはoffにしてください。

独立行政法人農畜産業振興機構

# 世界の豚肉需給を読み解く

～カナダ、メキシコ、スペイン、ブラジル、中国の現場から～

---



**A**griculture & **L**ivestock **I**ndustries **C**orporation

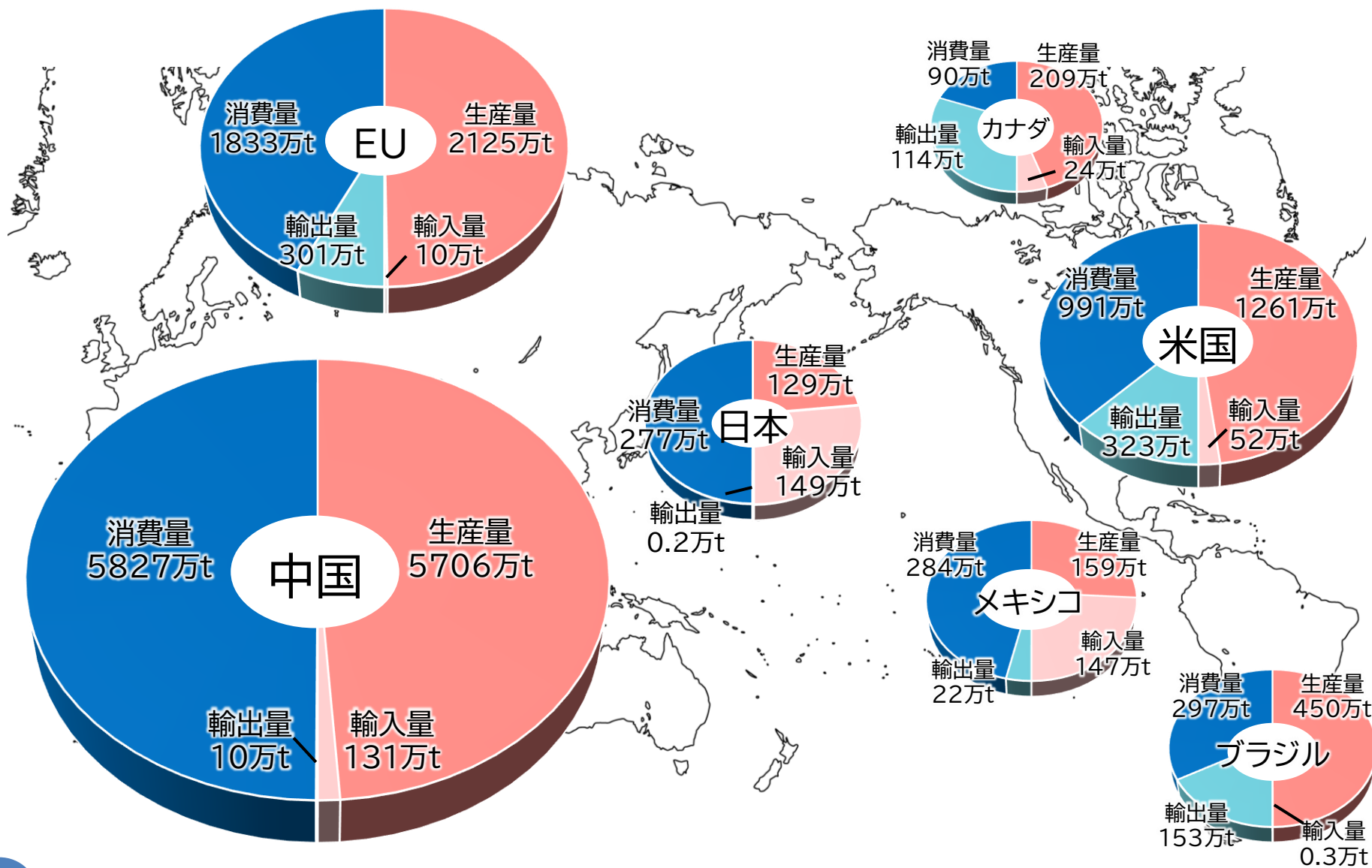
独立行政法人農畜産業振興機構

2025年12月19日(金)

# 本日の内容

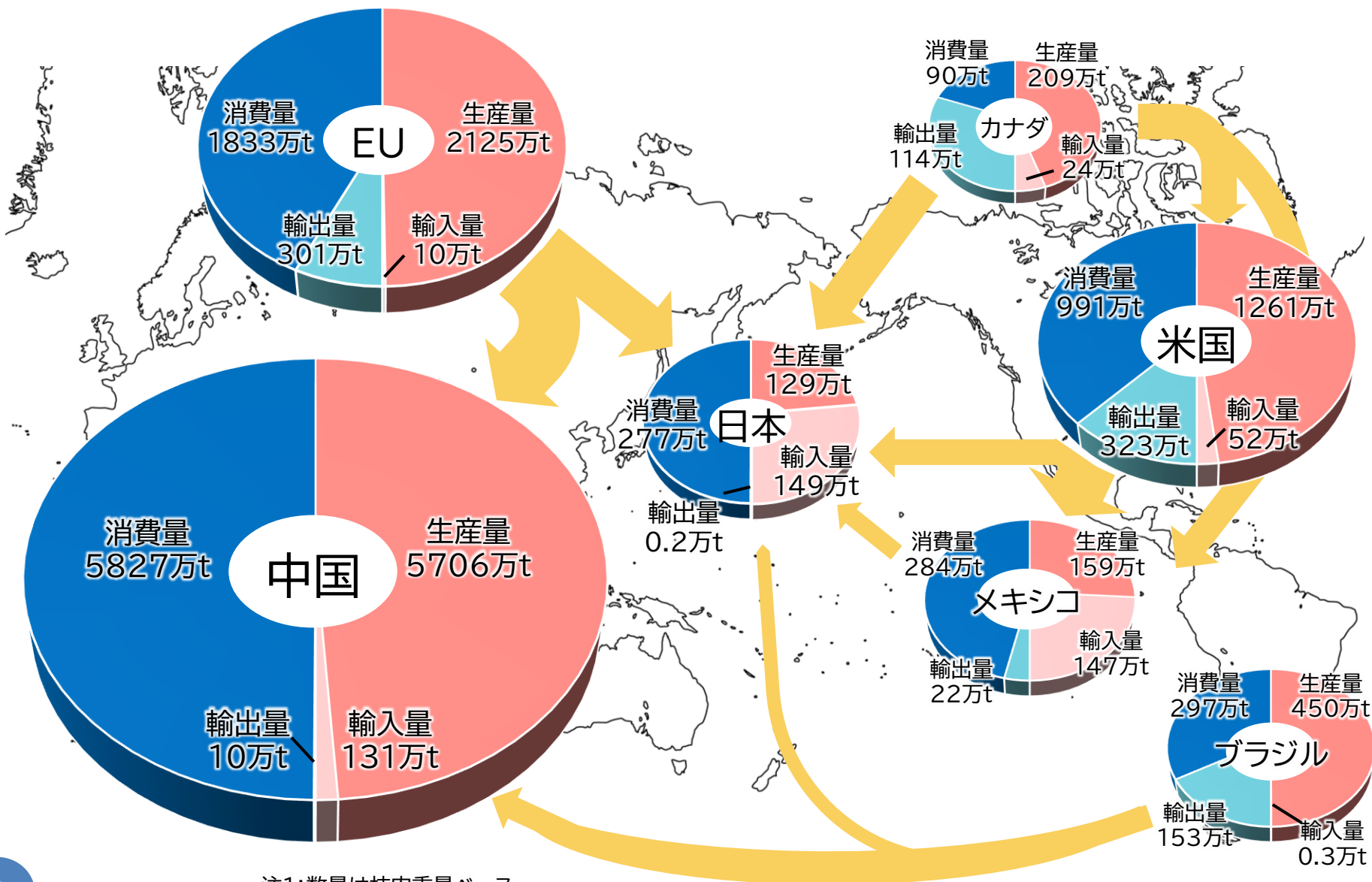
- ・ 世界の豚肉需給概論
- ・ カナダ
- ・ メキシコ
- ・ スペイン
- ・ ブラジル
- ・ 中国

# 絵で見る世界の豚肉需給(2024年)



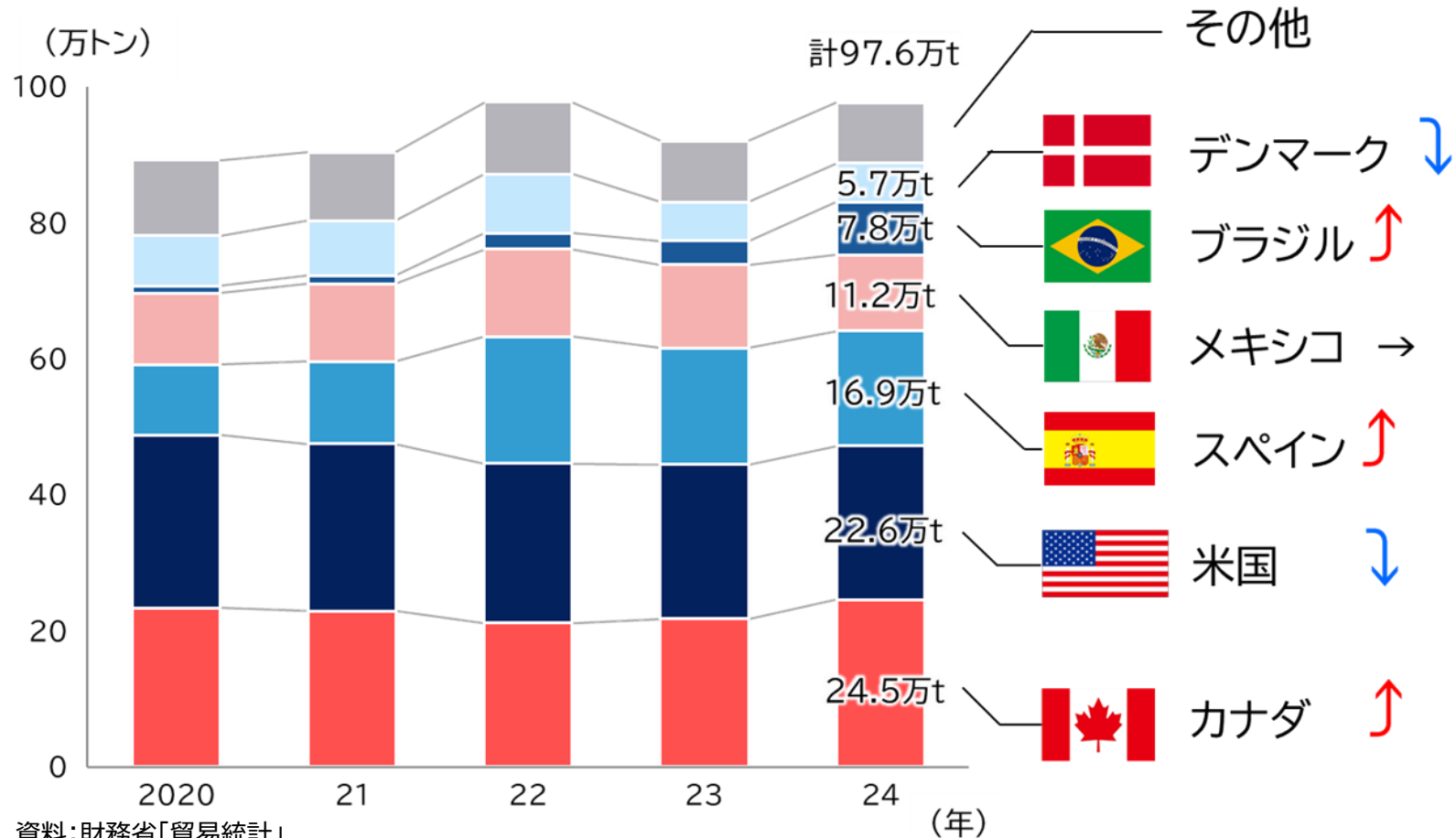


# 豚肉貿易の流れ(2024年)



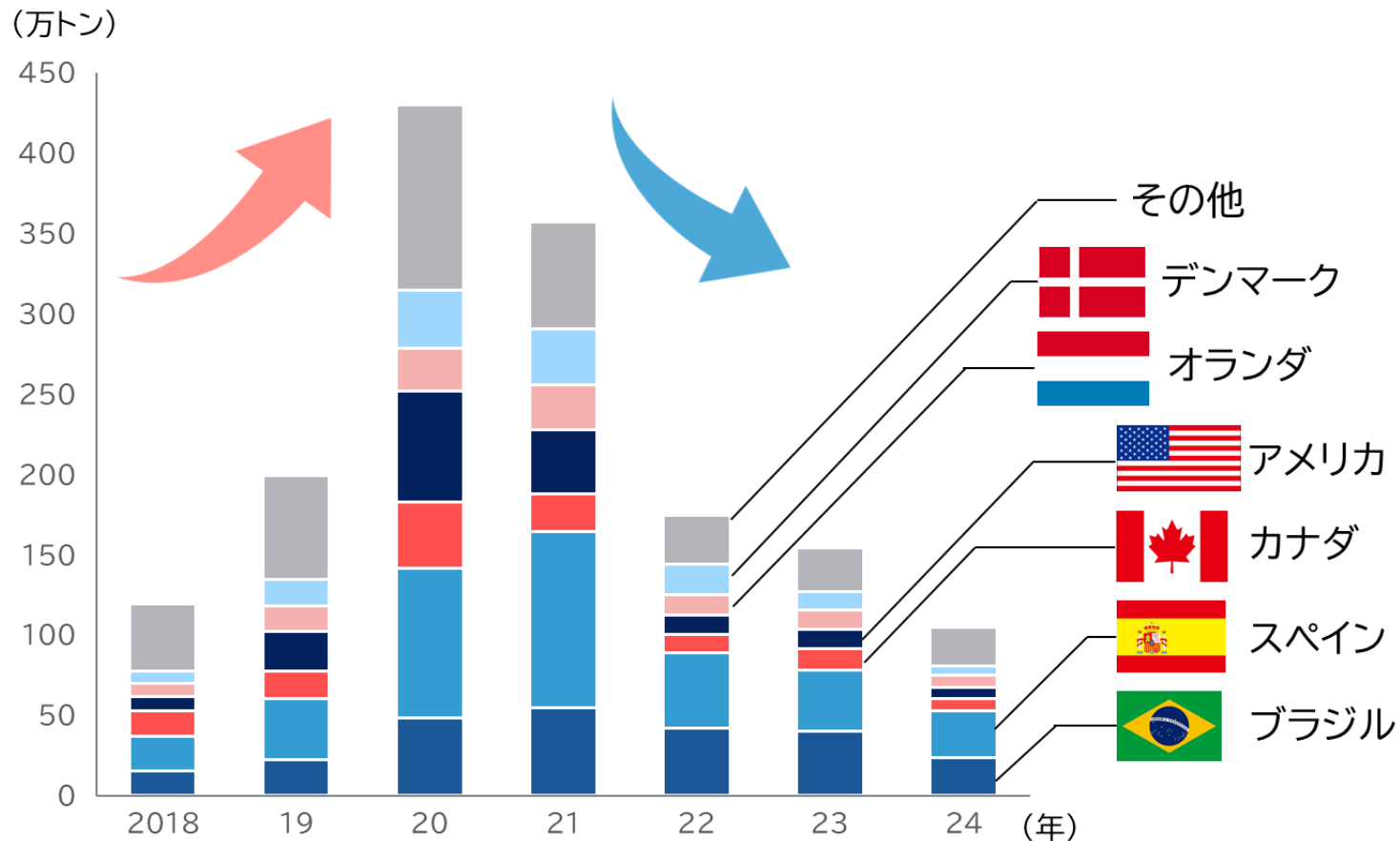
# 日本の豚肉輸入量の推移

- ・ 総輸入量は、わずかに増加
- ・ 輸入先国の順位は変動



# 中国の豚肉輸入量の推移

- ・ 2020-21年に急増後、22年は急減
- ・ 米中貿易摩擦により輸入先国が変動

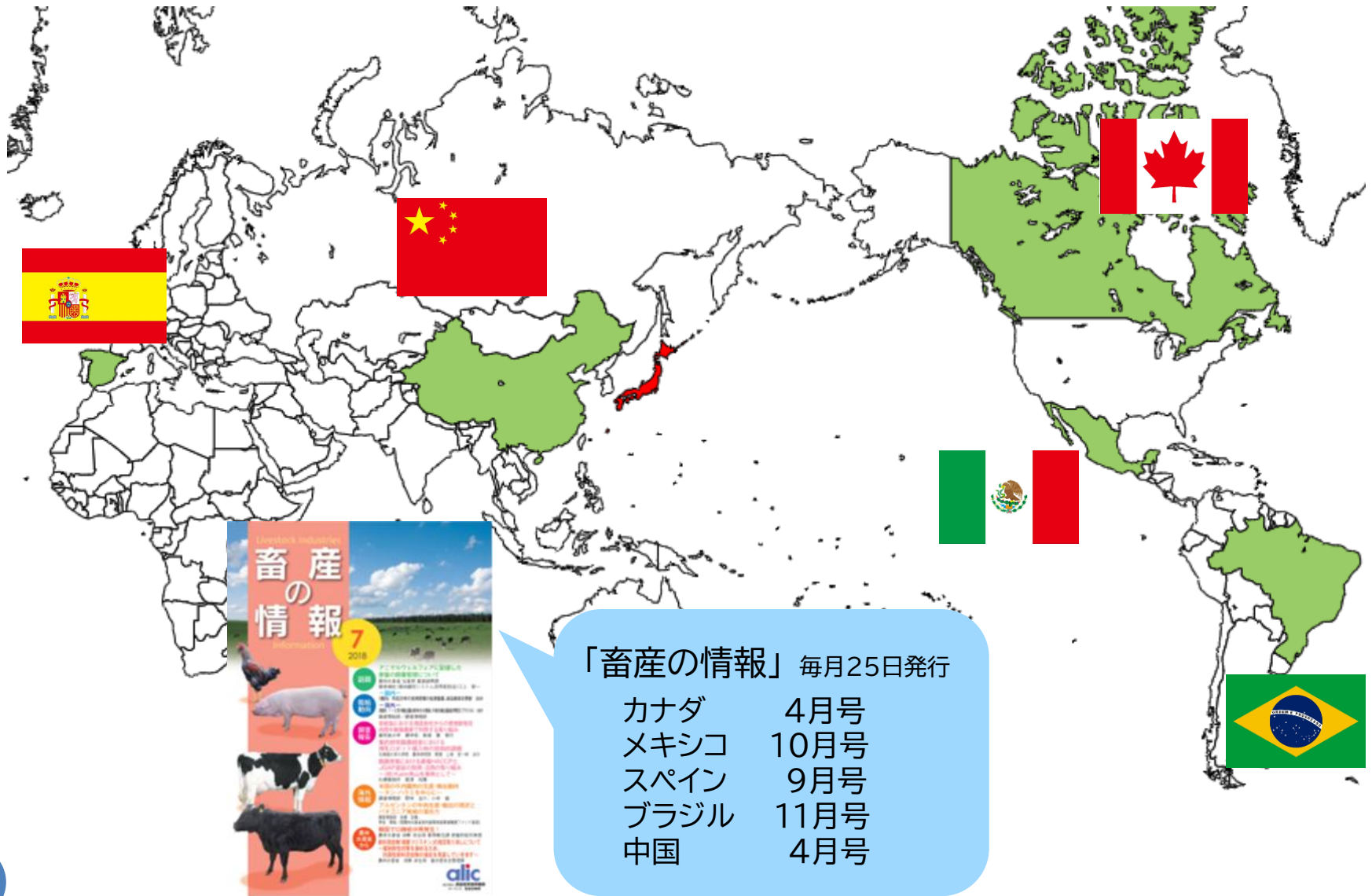


資料:「Global Trade Atlas」

注1:HSコード0203。

注2:製品重量ベース。

# 本日のプレゼン国





# カナダの豚肉生産・輸出の現状と 今後の見通しについて



(独)農畜産業振興機構 調査情報部 小林 大祐

『畜産の情報』2025年4月号

[https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05\\_003656.html](https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_003656.html)



1. カナダ養豚の概要
2. カナダ豚肉の優位性と輸出トレンド
3. 国内消費と業界の取り組み
4. 今後の見通しと課題



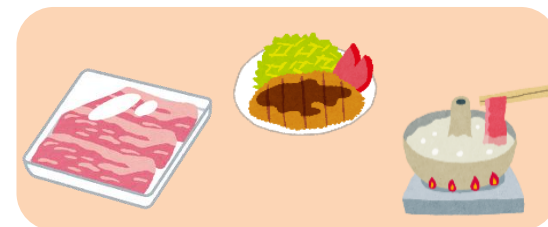
1. カナダ養豚の概要
2. カナダ豚肉の優位性と輸出トレンド
3. 国内消費と業界の取り組み
4. 今後の見通しと課題



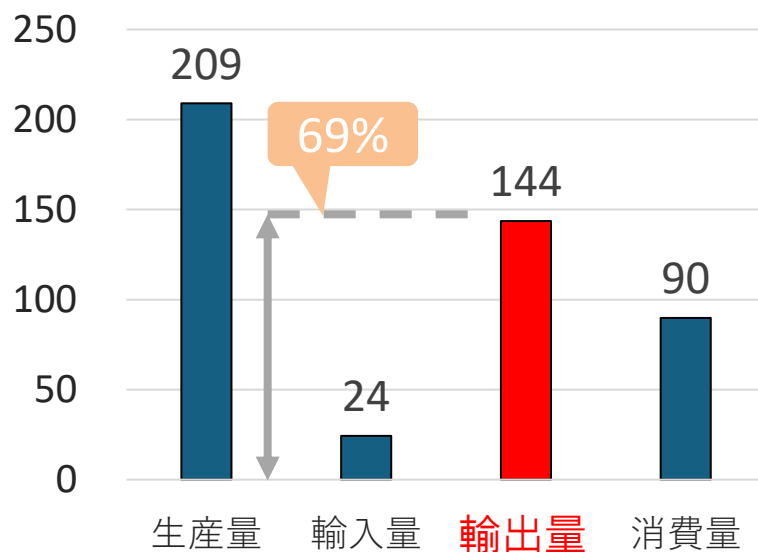


# カナダは「豚肉輸出国」

- ・ 豚肉生産量の**7割**が輸出向けの輸出国
- ・ 豚肉輸出量は144万トンと世界第4位
- ・ 日本は米国に次ぐ**第2位**の輸出先  
  外食、小売などで幅広く利用

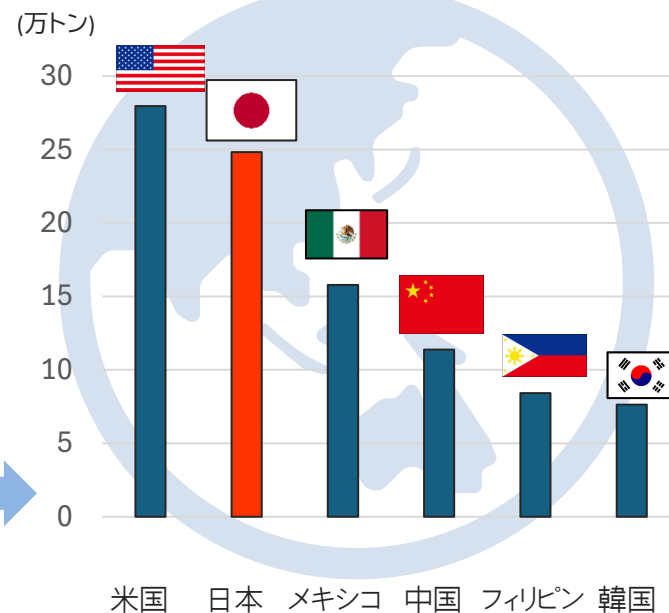


(万トン) カナダの豚肉需給(2024)



資料: 米国農務省  
注: 枝肉重量ベース

カナダの豚肉輸出量(2024)



資料: カナダ統計局  
注: 部分肉ベース(HS0203)





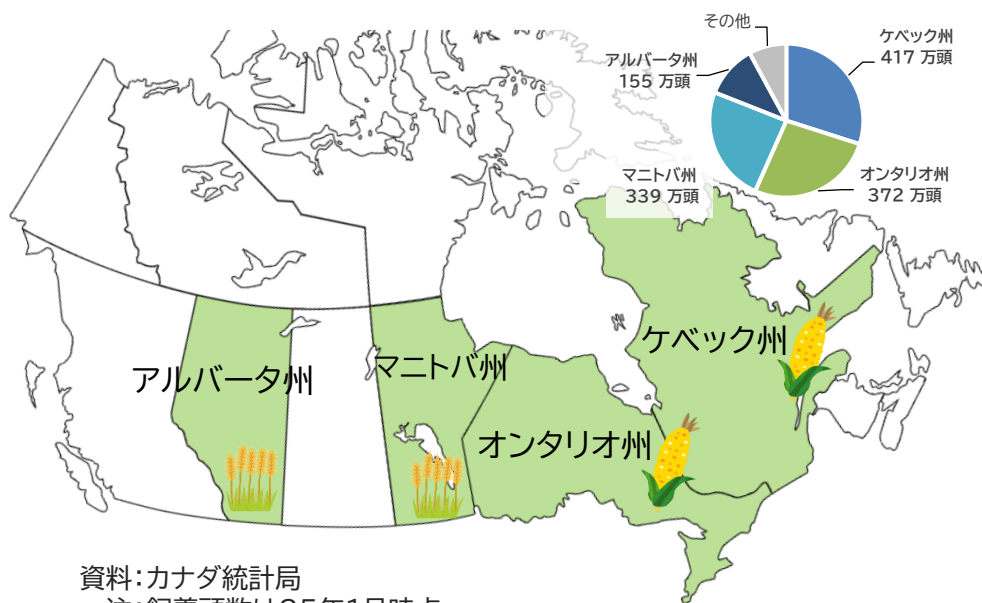
# 産地と生産構造

- 西部:企業型の大規模経営  
東部:小規模の家族経営型 が多い傾向
- 飼養頭数は横ばい～微減
- 東部はトウモロコシ、西部は小麦で肥育

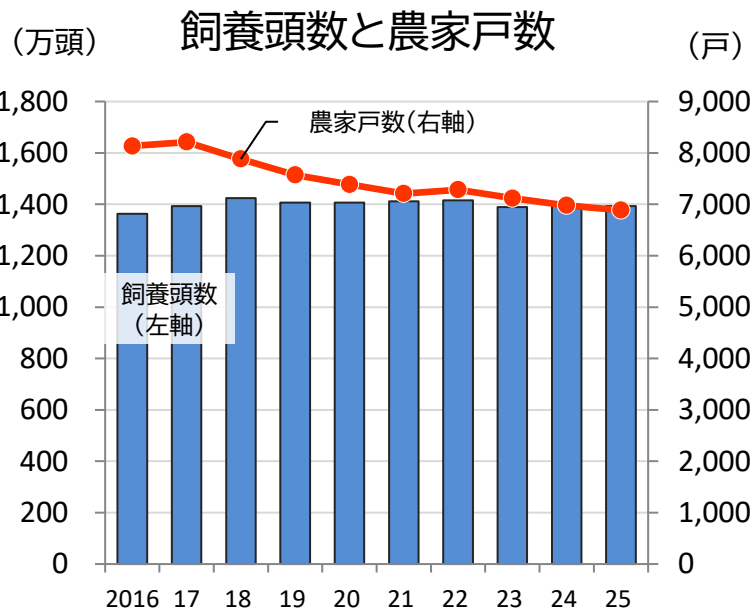
トウモロコシ圃場(オンタリオ州)



主要生産州



資料:カナダ統計局  
注:飼養頭数は25年1月時点



資料:カナダ統計局  
注:各年1月時点



1. カナダ養豚の概要
2. カナダ豚肉の優位性と輸出トレンド
3. 国内消費と業界の取り組み
4. 今後の見通しと課題

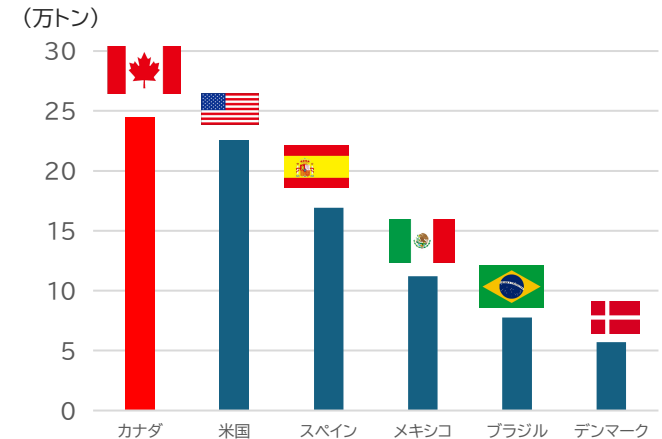


# カナダ豚肉の優位性(日本向け)

- 安定した供給と品質 : VCP認証、脂肪交雑
- チルド(冷蔵)の増加 : 賞味期限長
- TPP発効以降、段階的に関税減少
- 肩、ももなど低価格部位も競争優位

⇒日本の豚肉輸入先 **第1位** 注: 2024年、数量ベース

## 日本の豚肉輸入量(国別、24年)



資料: 財務省「貿易統計」  
注: 部分肉換算、くず肉を含む(HS0203)

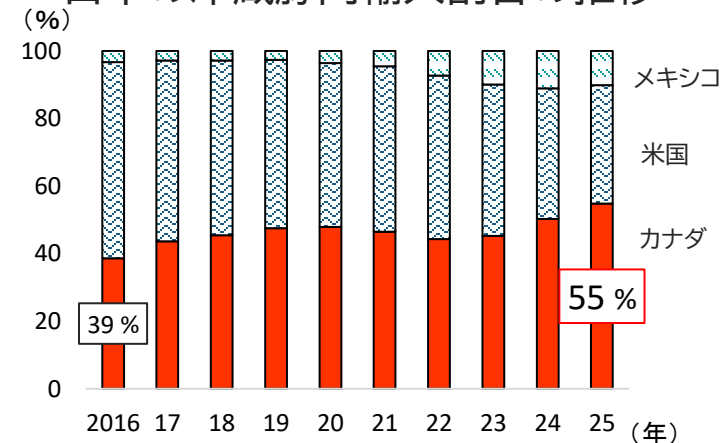
## 品質保証マーク

(VCP: Verified Canadian Pork)



資料: カナダポーク

## 日本の冷蔵豚肉輸入割合の推移

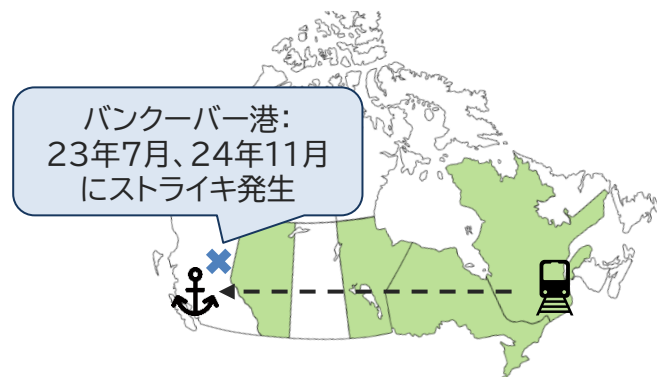


資料: 財務省「貿易統計」  
注1: 部分肉換算(HS020312, 020319)  
注2: 25年は1~10月の累計



# カナダ豚肉の課題と、主な供給企業

- ・ ブラジルなど新興輸出国の台頭
- ・ ストライキによる輸出遅延  
(日本やアジア向けはバンクーバーが主)
- ・ 供給余力: 日本向けは下記企業が主



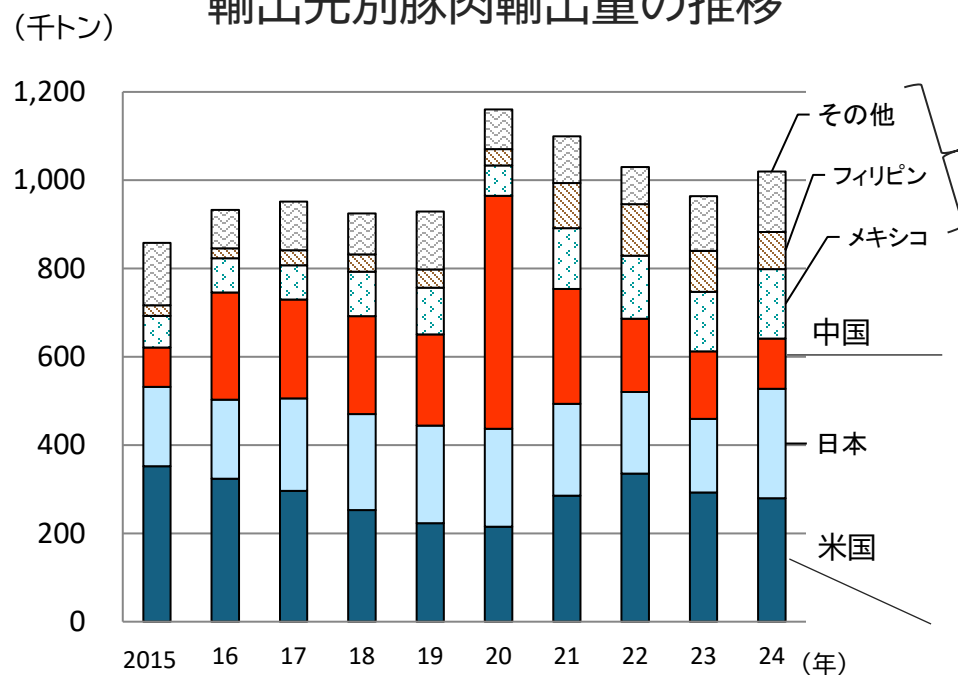
項目	オリメル 	ハイルーフ 	カナダパッカーズ 
と畜場 (カナダ国内)	4拠点 (ケベック州、アルバータ州)	1拠点 (マニトバ州)	2拠点 (マニトバ州、アルバータ州)
と畜頭数 (カナダ国内)	約420万頭/年	約234万頭/年	約500万頭/年
輸出先	世界50か国以上に輸出 近年、日本や韓国向け強化	日本向け中心(8割以上) 中国などにも輸出	米国、中国、日本、メキシコ、フィリピンなど15か国以上に輸出
近年の 動向	中国向け減少から23年～工場再編。加工製品生産やラインの自動化を推進	23年に米国拠点閉鎖。日本・中国での高品質戦略を強化しつつ、新市場も模索	25年、メープルリーフフーズより分社化。今後、年間2～3%の生産拡大を見込む 



# カナダから見た輸出先(日本以外)

- ・20年以降、輸出量は横ばい～減少。  
背景に中国向け輸出の減少
- ・アジアなど輸出先の多様化図る

輸出先別豚肉輸出量の推移

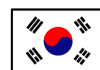


資料:カナダ統計局  
注:HSコード0203の合計。

## 輸出先別の動向



- △ EU向け輸出量は少ない
- 持続可能性の動向を注視



- メキシコ、アジアは旺盛な需要
- 韓国向けは25年、**中国を上回る**



- 旺盛な需要、豚足や頭も輸出
- △ 19年の一時輸入停止以降、**減少**
- 20年はASFの関係で増加
- △ 25%の追加関税も影響



- 冷蔵豚肉の安定した輸出先
- 貿易政策の影響も小
- △ 原産地表示制度の影響を懸念

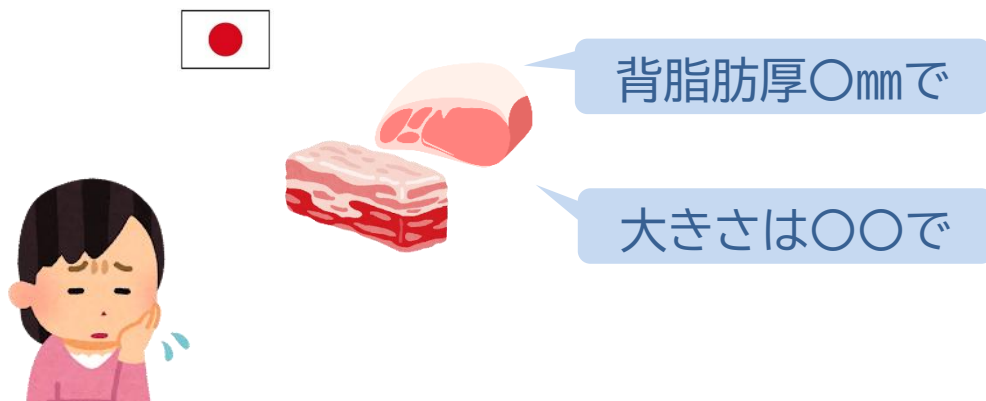


# カナダから見た日本

- 安定した輸出先 & 輸出量も多い
- △ 円安等による購買力低下 (※)
- 引き続き厳格な規格要求 (※)

※: 他の主要輸入先も指摘

▶ 低価格部位輸出を増やし対応



円・カナダドル為替相場の推移



Source: Refinitiv





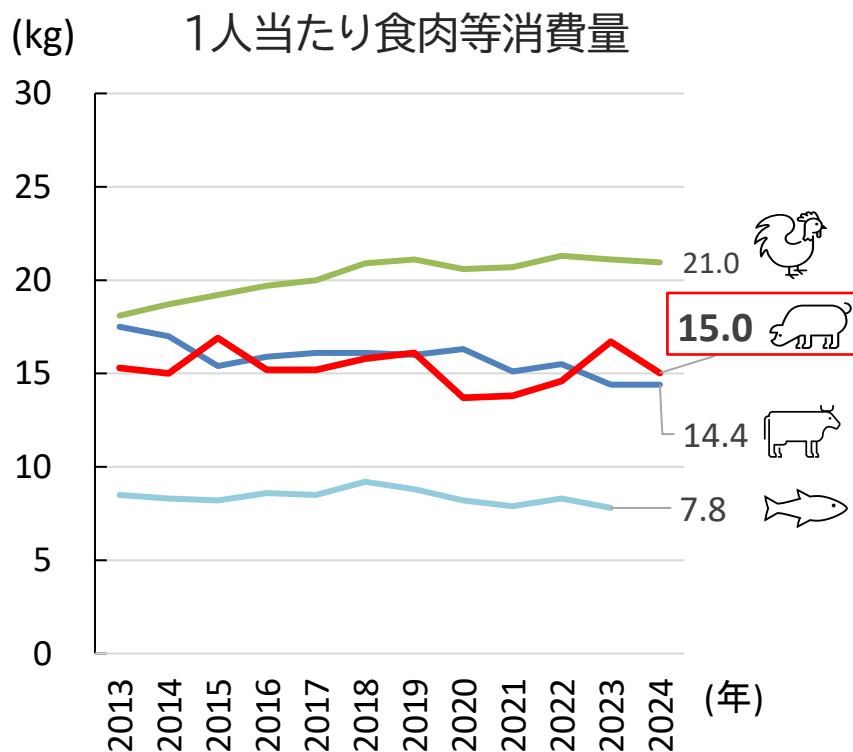
1. カナダ養豚の概要
2. カナダ豚肉の優位性と輸出トレンド
3. 国内消費と業界の取り組み
4. 今後の見通しと課題





# カナダの豚肉消費

- ・ 伝統的にハム、ソーセージ、ベーコンなど加工製品が主(米国も同様)
- ・ 牛肉価格が高騰する中で、消費増
- ・ 調味済、調理済製品の需要も増加



資料: カナダ統計局  
注: 製品重量ベース



ミートボール



調味豚肉製品





# カナダの豚肉料理・製品



小売店の豚肉売り場



ポークリブ(外食店)



ポークリブ(マーケット)



様々なサイズの精肉(小売店)



ケベック伝統料理「プーティン」  
(ポテト、チーズ、グレービーソース+肉)



マーケットの加工品販売



# 業界団体による国内消費拡大の取り組み

- ・ 24年以降、業界団体による新たな国内向け販促活動が実施
- ・ 輸出と国内消費拡大の両輪により、安定的な市場拡大を図る
- ・ 「多文化圏」であることをふまえつつ、豚肉について知ってもらう

## 豚肉を知ってもらう必要

ベーコンって豚肉なの？

焼く温度が難しそう

どんな部位がある？

鶏の方が健康的で安そう

レストランで見かけない



## プロモーション内容(2025～予定)

- (1)英・仏話者双方に訴求できるブランドネーム
- (2)消費者向けウェブサイトの構築
- (3)全国的な広告やキャンペーンの実施



資料：カナダポーク、アルバータポーク





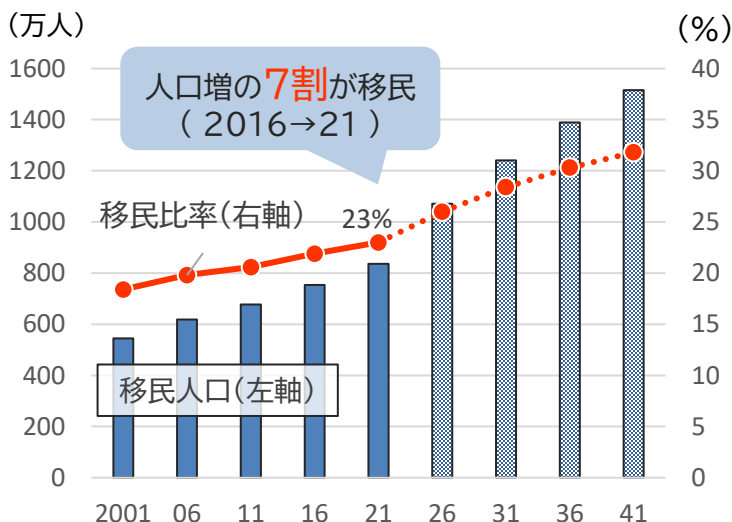
# エスニック料理の台頭

- 近年、アジアやメキシコ料理といったエスニック料理が台頭
- 背景にはコロナ禍の家庭調理増や、移民人口の増加、マーケティングなど
- アジア系移民のみならず、**カナダ人にも人気**
- 新たな市場や利用シーンの創出で、豚肉消費拡大を狙う



炒め物用の「細切り肉」

移民人口および人口に占める比率の推移



資料：カナダ統計局(2021年国勢調査)  
注：26～41年は21年時点での予測値

移民の出生地(上位3か国、21年)

国	移民人口比
1位  インド	18.6%
2位  フィリピン	11.4%
3位  中国	8.9%



タコス用の調味済豚肉製品



スブラキ(ギリシャ風豚肉BBQ+ライス)



1. カナダ養豚の概要
2. カナダ豚肉の優位性と輸出トレンド
3. 国内消費と業界の取り組み
4. 今後の見通しと課題



# 今後を考える3つの視点

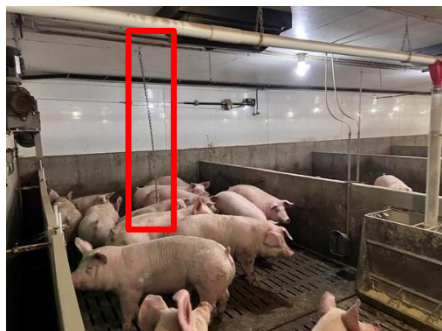
- ① アニマルウェルフェアと持続可能性
- ② ASF対策
- ③ 供給余力



# ① アニマルウェルフェアと持続可能性

- ・ 2010年代以降、アニマルウェルフェアや持続可能性の取り組みが加速
- ・ 2019年、業界団体が枠組み作成(CPE)→認証にも反映(VCP)
- ・ 企業はGHG削減目標も設定、EUや米国の要請に応え差別化図る  
⇔アジア圏には、引き続き安定供給や価格を訴求

## 〈AWの取り組み事例〉



遊具のチェーンを設置



ガススタニングマシーン

## CPE(生産者主導の取り組み)



- ① 食品安全・防疫
- ② 動物福祉(アニマルケア)
- ③ トレーサビリティ

注: 2016年からパイロット運用が開始され、  
19年から正式に運用開始

## VCP(品質保証マーク)



組込

資料: カナダポーク



## ② ASF対策

- ・ カナダは**ASF未発生国**だが、ゾーニング認定を主要輸出先に働きかけ
- ・ 米国・EUとは協定締結済、**アジア諸国**とも交渉中  
日本は、条件付きで認定する方向にて検討中  
※ 発生時に一時輸入停止→防疫措置確認後再開
- ・ 国内ではバイオセキュリティ強化や**野生イノシシ**の監視を実施

### ASF対策 5つの優先分野

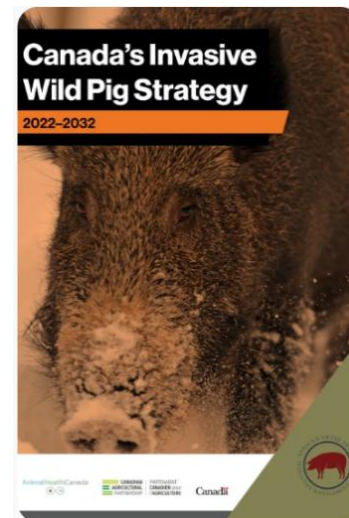


輸送トラックの消毒

- ①野生イノシシの管理を含めたバイオセキュリティの評価と改善
- ②地域分析、業界内の連絡・連携強化
- ③ASF関連の調査・研究
- ④食肉処理場の改装
- ⑤地域毎のアニマルケア基準に則したと殺や滞留した豚の処理体制の整備

資料:カナダ農業・農産食料省

### 野生イノシシ対応戦略



資料:Wild Pig Canada



### ③ 供給余力

#### ↑ 生産の増要因

- ・ 西部の処理能力向上・近代化
- ・ 肥育豚価格の上昇
- ・ 平均枝肉重量の上昇
- ・ 廃用母豚の処理能力向上



センサーを利用した格付け



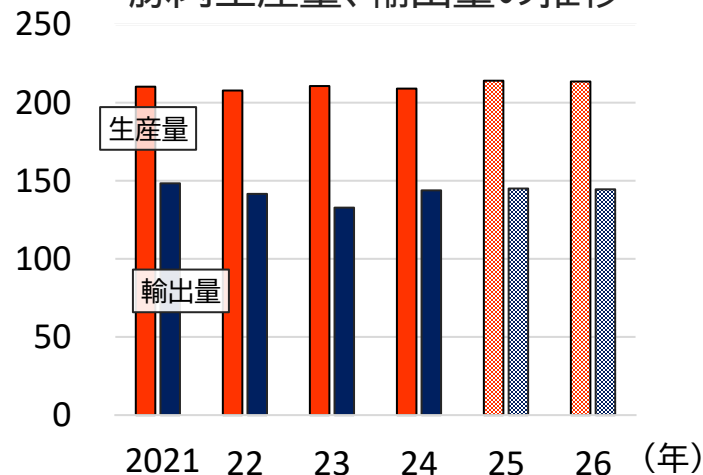
ラベル貼付の自動化

#### ↓ 生産の減要因

- ・ 東部における処理能力縮小
- ・ 繁殖豚頭数の微減  
→ 不確実な環境、投資余力に課題
- ・ 労働力不足

生産量は横ばい～微増の見通し

(万トン) 豚肉生産量、輸出量の推移



資料：米国農務省

注：枝肉重量ベース。25年、26年は予測値



# ご清聴ありがとうございました

## 【ご注意】

- ◆ 本日の講演内容は発表者の見解に基づくものであり、報告者が所属する組織の公式見解ではありません。
- ◆ 講演内容および資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確性を期すよう努力しておりますが、保証するものではありません。本情報の採否は各自のご判断によって行ってください。
- ◆ また、万一不利益を被る事態が生じても、主催機関および講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。



# メキシコ産豚肉の日本向け輸出の取り組み

～メキシコ国内需要の増加と輸出への影響～



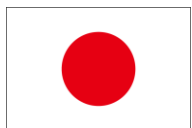
(独)農畜産業振興機構 調査情報部 大西 未来

『畜産の情報』2025年10月号

[https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05\\_003932.html](https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_003932.html)



# はじめに



品質評価○



輸入量↑  
(1980年代前半～)



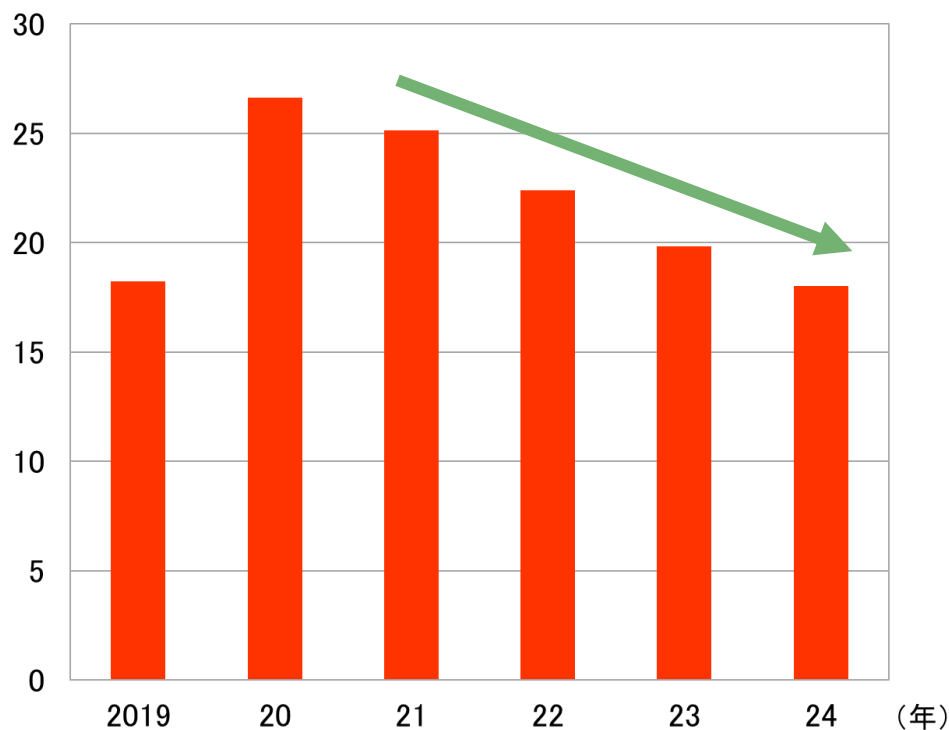
国内需要↑



輸出量↓  
(2021～)

## メキシコの豚肉輸出量の推移

(万トン)



資料: COMECARNE

注1: 枝肉、カット肉、内臓を含む。

注2: 2024年は推定値。



1. メキシコ豚肉の需給概要
2. 日本向けの輸出動向
3. 輸出企業の動向
4. おわりに



1. メキシコ豚肉の需給概要

2. 日本向けの輸出動向

3. 輸出企業の動向

4. おわりに



# 生産動向

## 豚肉生産量 上位5州(2024年)

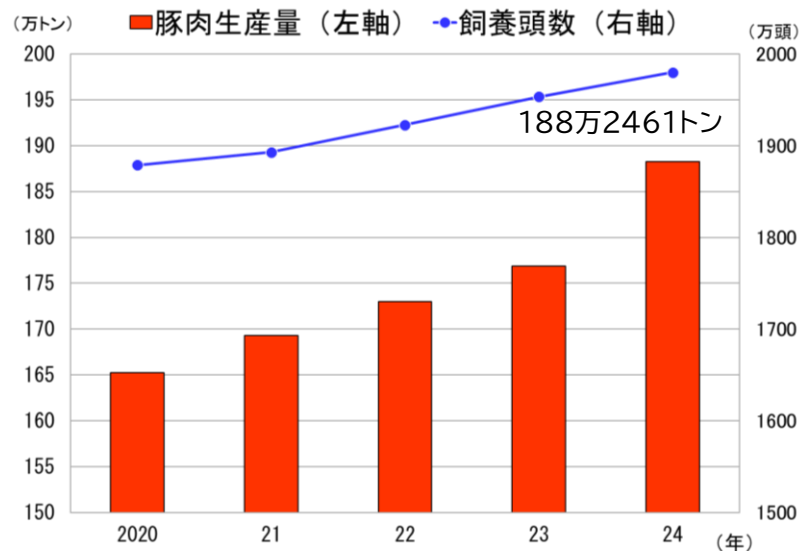


小麦  
or  
トウモロコシ

インテグレーション  
経営

豚肉生産量  
世界**8位**

## 豚肉生産量と飼養頭数の推移



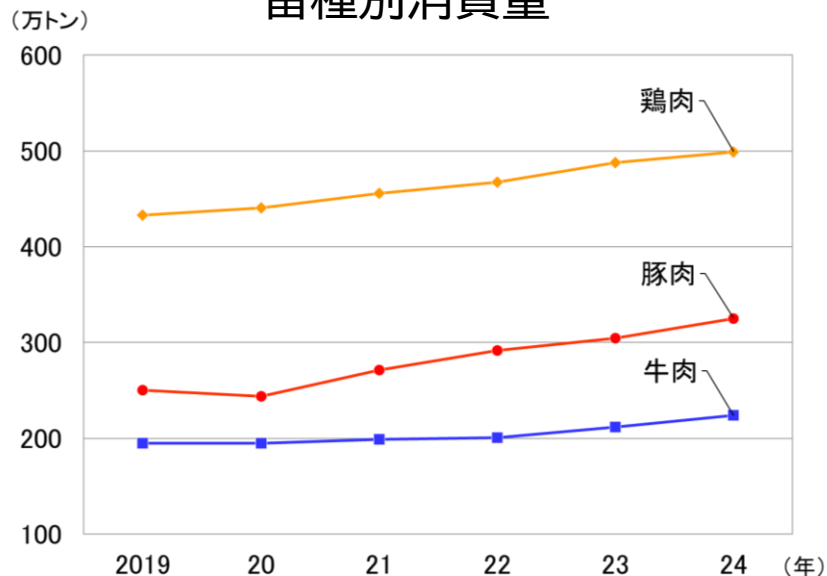
資料: SIAP (メキシコ農牧漁業情報局)、COMECARNE (メキシコ食肉評議会)  
注: 2024年の飼養頭数は推計値。

資料: SIAP「Anuario Estadístico de la Producción Ganadera」



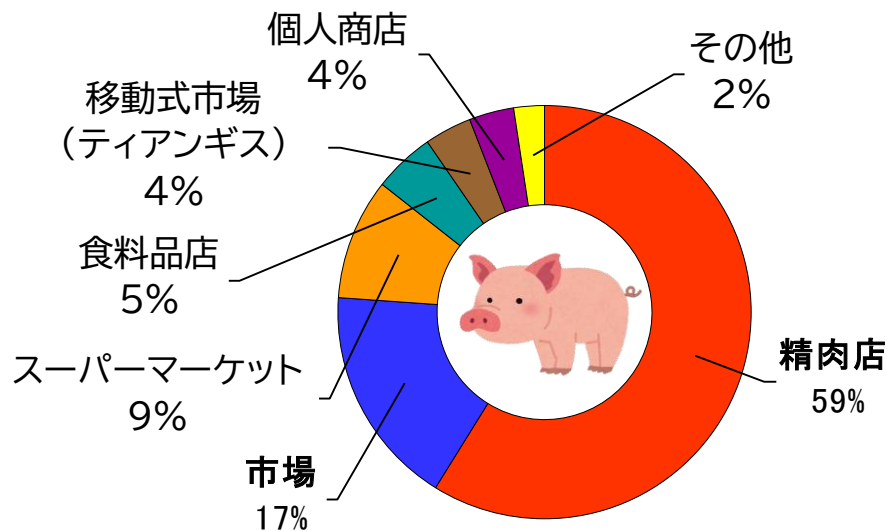
# 消費動向

## 畜種別消費量



資料: COMECARNE  
注: 2024年は推定値。

## 豚肉購入先



資料: COMECARNE2020



(精肉店: 購入先の6割を占める)



(市場の大部分を占めるウェットマーケット)

おいしい  
**Bueno**  
安い  
**Barato**  
見た目が良い  
**Bonito**





# メキシコ国内での豚肉料理



## ファヒータ

アメリカ生まれのテキサス料理で、  
グリルしたお肉(牛・豚・鶏肉)を細く切り、  
トルティーヤ生地で巻いて食べる。  
※画像は牛肉のファヒータ



## パストール

調味料に漬け込んだ豚肉を串に刺  
して、焼いたものを切り落とし、  
トルティーヤに乗せ、パイナップル  
とともに食べる料理。



## タマレス

トウモロコシの粉をスープやラード  
で練ったものに具材を入れ、バナナ  
の葉で蒸したものだ。地域によって  
様々な種類がある。



## チチャロン

豚肉の皮を油で揚げたもの。



## ポソレ

「ひき割りトウモロコシ」という意味の、  
具だくさんのコーンスープ



## コチニータ・ピビル

ベニノキの種子から抽出したアナ  
トーやオレンジジュースなどに漬け  
込んだ豚肉の塊をバナナの葉で包  
み、地中に埋めて蒸し焼きにしたも  
のをトルティーヤに包んだ料理。

資料：現地関係者への聴き取りを基に機構作成  
注：矢印は発祥地であり、料理は全国で消費されている





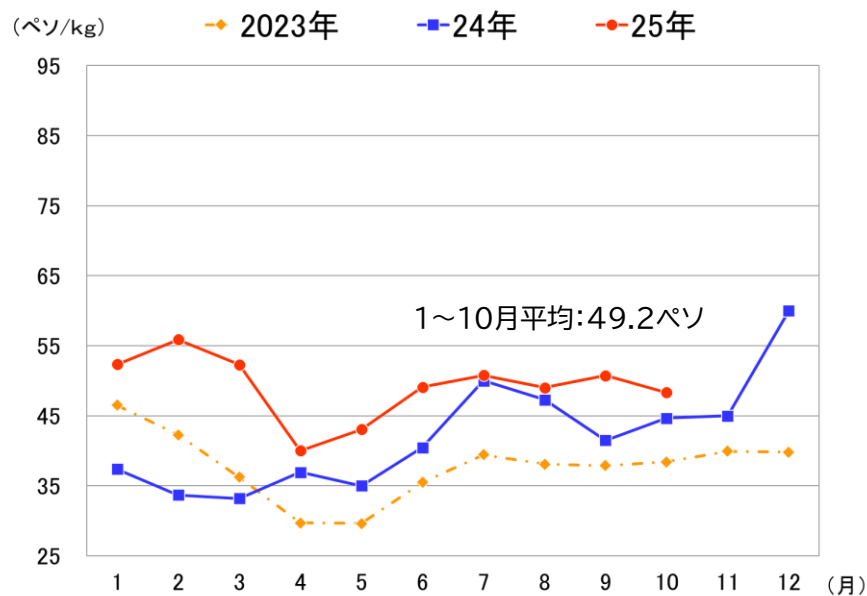
# 生体および枝肉価格

PRRS

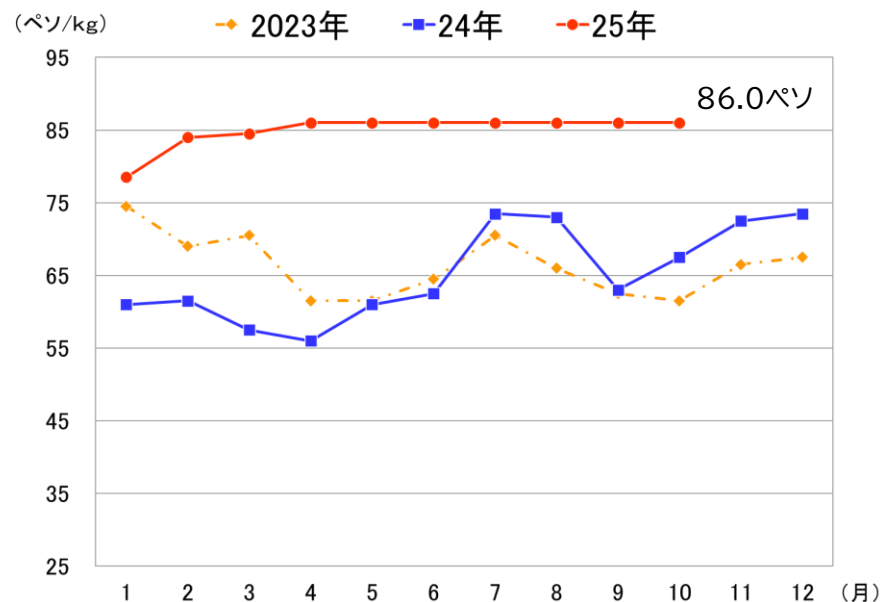
米国産

ブラジル産

## 生体価格



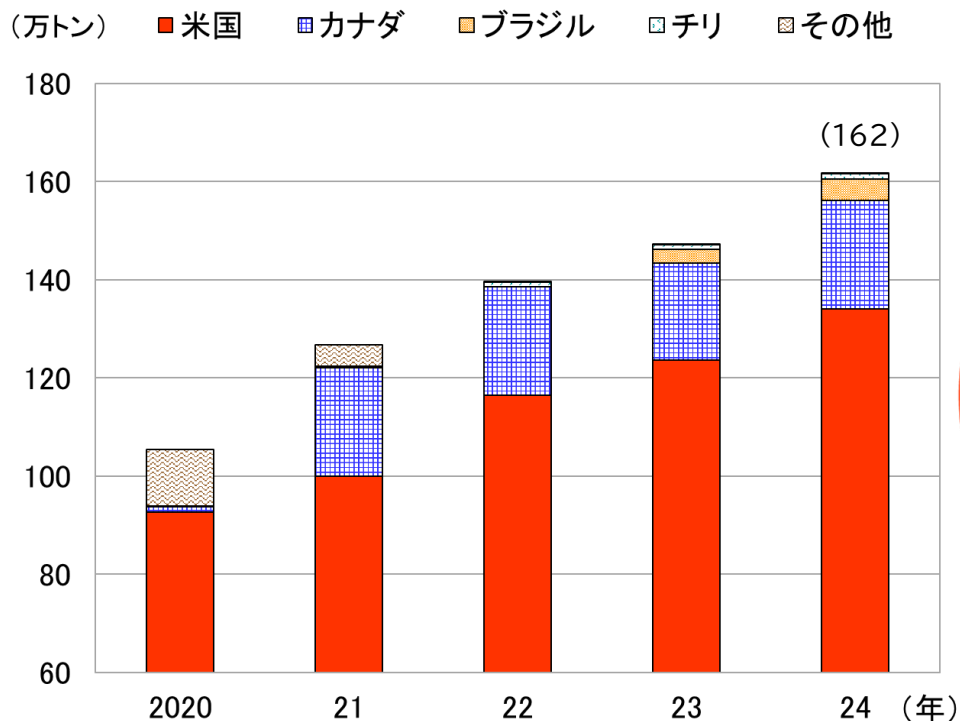
## 枝肉卸売価格





# 輸入動向

## 豚肉輸入量の推移(国別)

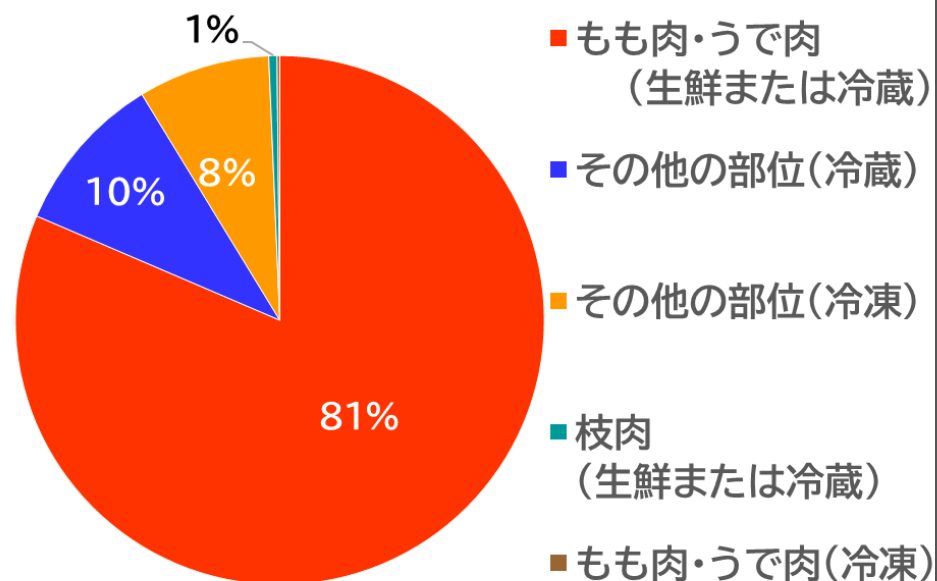


資料: COMECARNE

注1: 枝肉、カット肉、内臓を含む。

注2: 2024年は推定値。

## 米国産の部位別輸入量(2024年)



資料: 「Global Trade Atlas」

注1: HSコード020311,12,19,21,22,29

注2: 重量は関税制度に基づき集計されたBOL(商船証券)ベース。



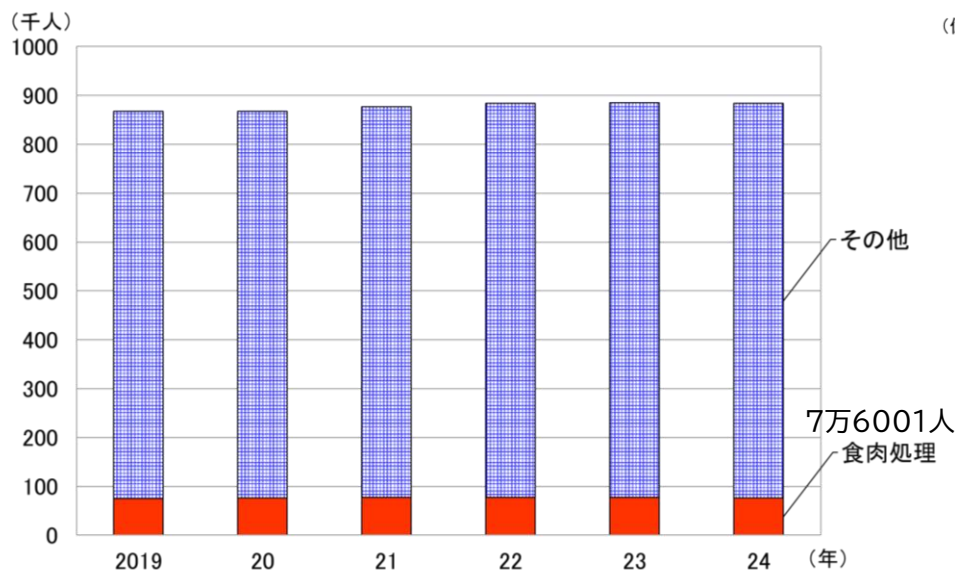
# 労働状況

**GDP成長**

**人口増加**

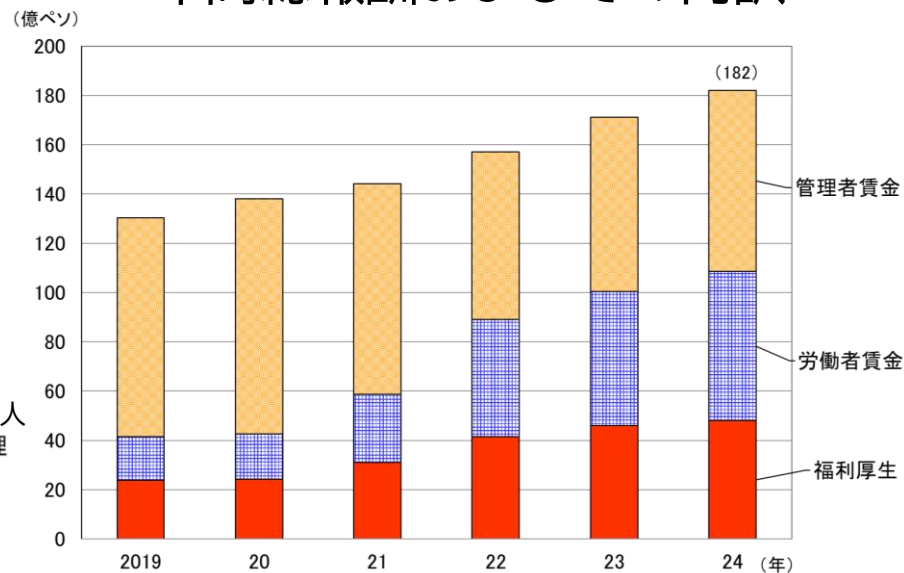
**最低賃金  
上昇**

## 食品製造業従事者数



資料: COMECARNE  
注: 2024年は推定値。

## 食肉加工業界における 年間総報酬およびその内訳



資料: COMECARNE  
注1: 福利厚生とは社会保険制度を示す。  
注2: 2024年は推定値。



1. メキシコ豚肉の需給概要

2. 日本向けの輸出動向

3. 輸出企業の動向

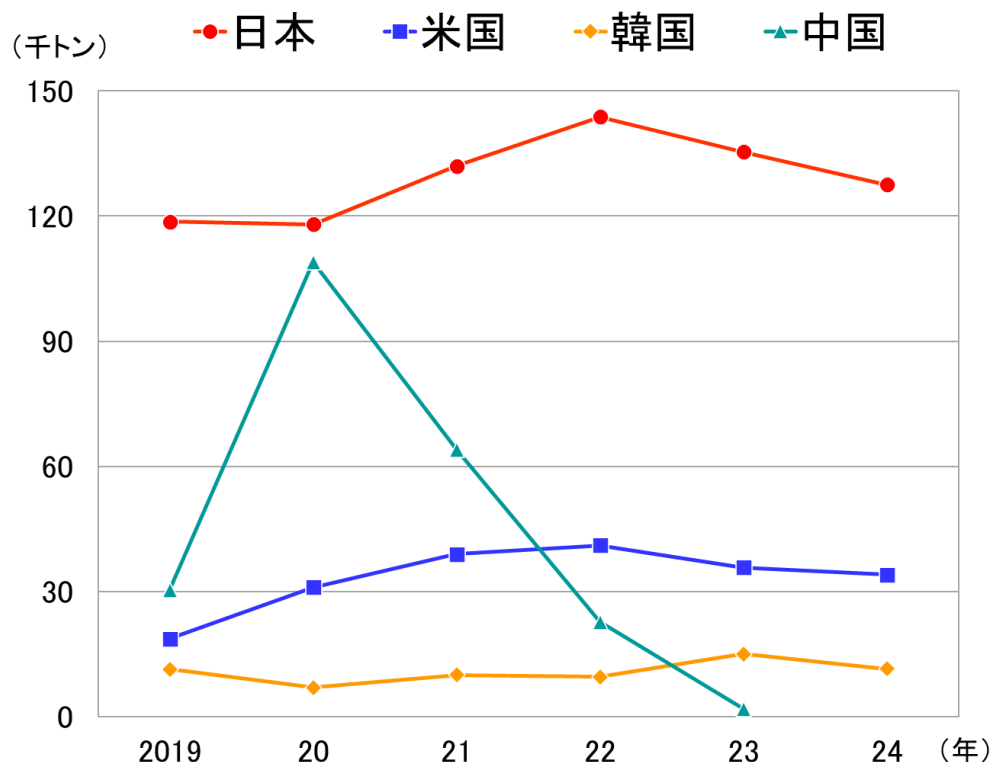
4. おわりに



# 輸出概況

24年輸出量  
18万319トン(前年比:9.0%減)

## 豚肉輸出量の推移(国別)



資料: COMECARNE  
注1: 冷蔵および冷凍の枝肉、カット肉、内臓肉を含む。  
注2: 2024年は推定値。



- バラ
- 高値◎、輸出量◎
- 単体販売



- 肩ロース、バラ
- 高値◎
- 購入頻度△



- 輸出解禁待ち
- 需要◎、規格
- 冷蔵品輸出×

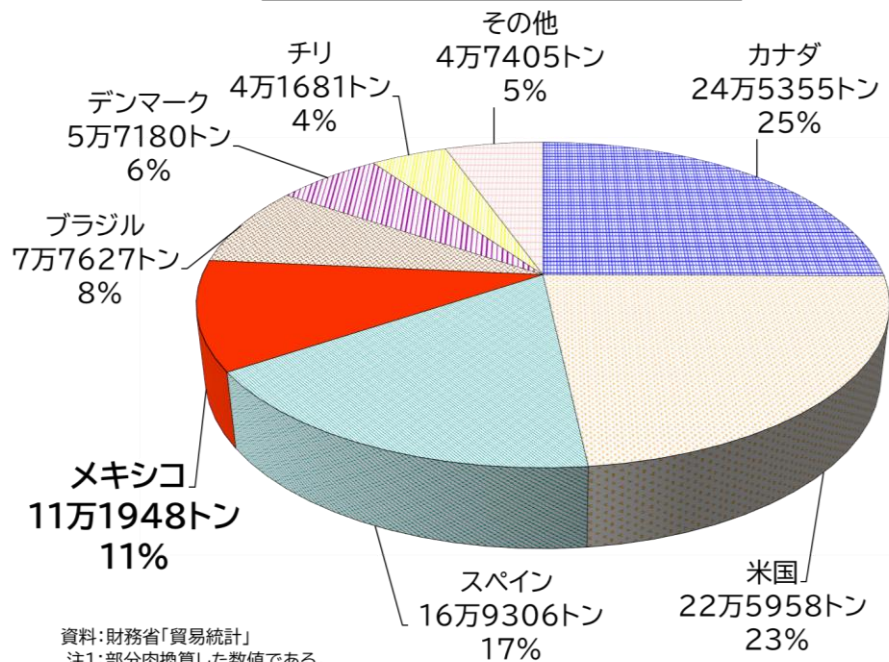
注: 現地関係者への聞き取り内容に基づく



# 日本向けの輸出

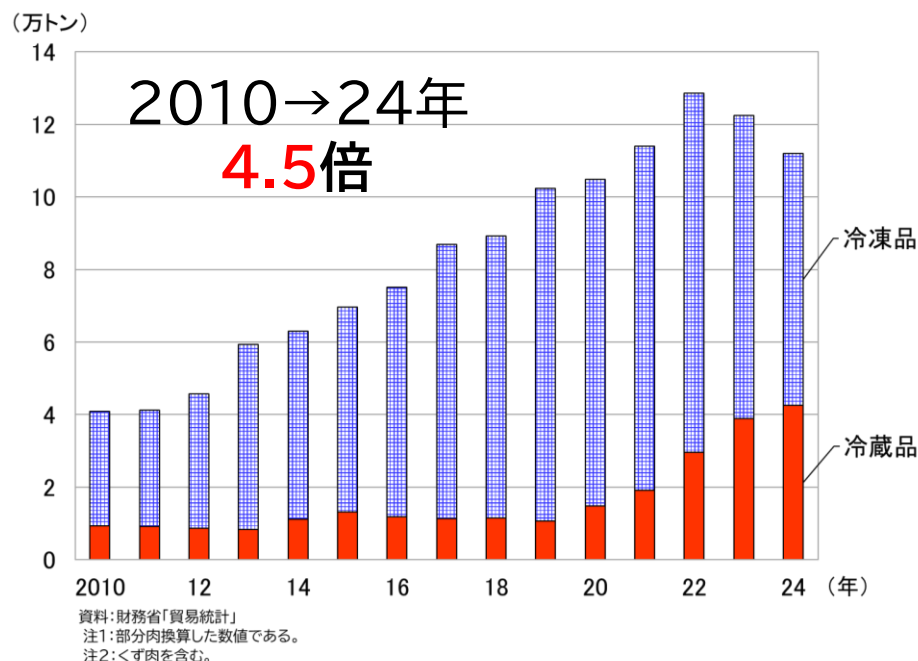
## 日本の豚肉輸入先別輸入量(2024年)

輸入量: 97万6460トン



資料: 財務省「貿易統計」  
注1: 部分肉換算した数値である。  
注2: えず肉を含む。

## 日本におけるメキシコ産豚肉の 輸入量の推移(冷蔵・冷凍別)



安価な  
労働力

細かな  
規格対応

チルド輸出の割合 ↑





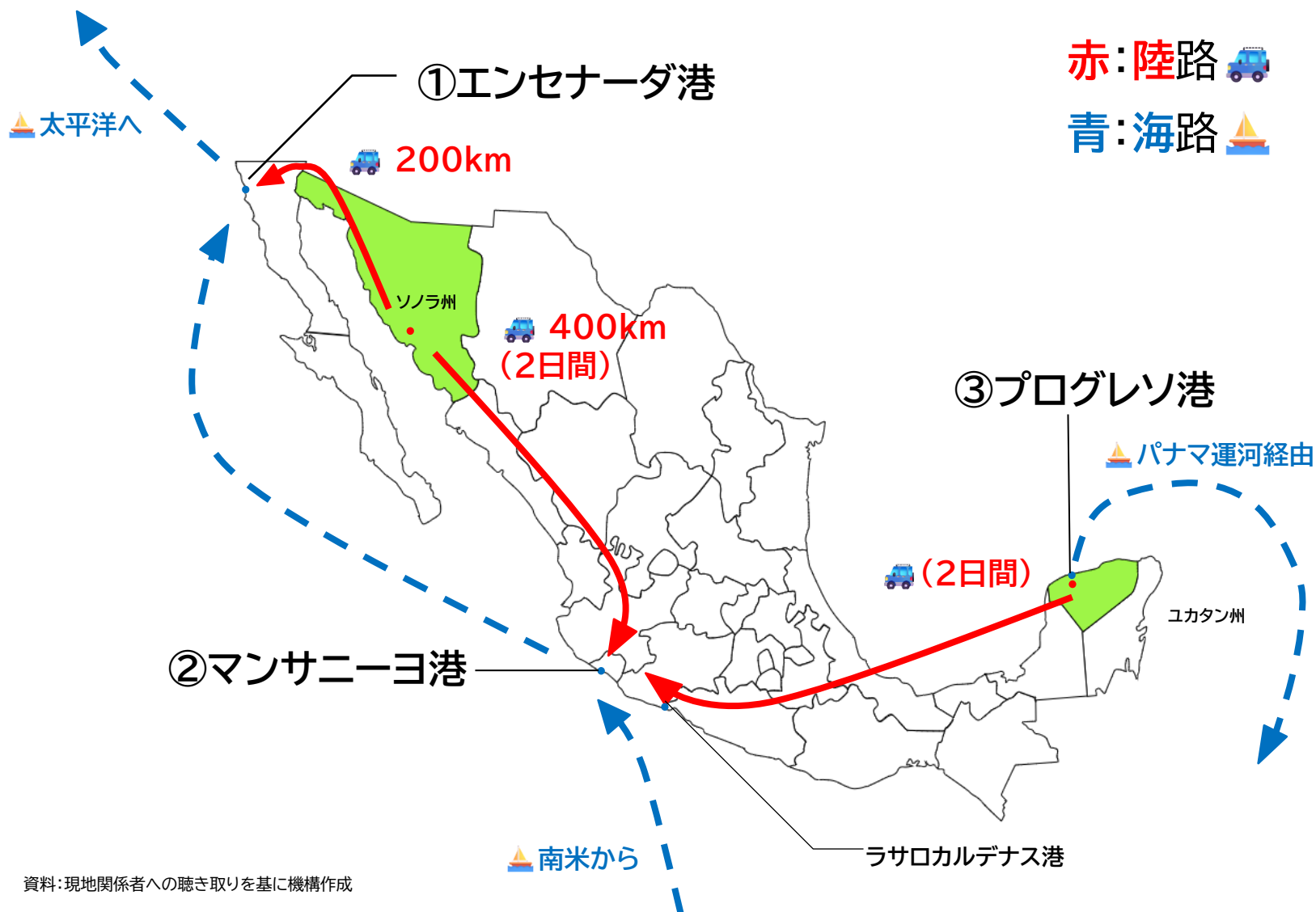
# 日本向けの輸出メリットとデメリット

項目	メリット	デメリット
規格	<b>日本の規格</b> で製造◎ ↓ 他国向けの規格で製造◎	細かい <b>規格指定</b>
価格	<b>高値</b> で販売◎	消費者は <b>手頃な価格</b> を重視 冷凍品は <b>ブラジル産</b> の台頭
加工品	付加価値製品として <b>高値</b> で販売◎	メキシコ⇔日本間での <b>価格不一致</b>

資料：現地関係者への聞き取りを基に機構作成



# 日本向け輸送経路



資料：現地関係者への聴き取りを基に機構作成



# 各港の特徴

港名	所要日数 (遅延+7日)	メリット	デメリット
①エンセナーダ港	24日 (31日)	コンテナ <b>再検査</b> がスムーズ	<b>抜港リスク</b>
②マンサニーヨ港	28日 (35日)	<b>抜港リスク</b> 低い アジア向けのヤード→ <b>2</b> つ	道路、ヤードの <b>混雑</b> コンテナ <b>再検査</b> に時間を要する
③プログレソ港	55日	<b>パナマ運河</b> 通行○	<b>冷凍品</b> 中心

資料：現地関係者への聞き取りを基に機構作成

注：所要日数は、パツカーへの聴き取りによるものであり工場出荷から横浜港到着までの日数。

課題 「**抜港**リスク/**停泊**の可否」



1. メキシコ豚肉の需給概要
2. 日本向けの輸出動向
3. 輸出企業の動向
4. おわりに



# 日本向け輸出を行う主な企業



## SOLES社



## Kekén社



資料:MEPAウェブサイトを基に著者作成  
注:MEPAの会員企業



## チルド製品のベテラン

**1997年**  
**輸出開始**



**家族経営**

**賞味期限**  
**延長**

メイン飼料	小麦	輸出仕向けの割合	約3～4割 (チルドの約4割)
と畜頭数(上限)	1日当たり2200頭	日本向けの割合	輸出品の9割 (週10～12コンテナ)
加工場の温度	加工室:7℃ 箱詰め→出荷準備:5～6℃ 冷凍庫:-35℃	日本への輸出部位	ロース、モモ、バラ、ほほ肉
生産量	4万5000トン	輸出向けチルドの賞味期限	60日
冷蔵品:冷凍品の割合	80%:20%	と畜から工場出荷までの所要時間	3～4日 (最短2日)

資料:SOLES社への聞き取りを基に機構作成





## 生産量、輸出量メキシコNo.1

輸出  
20年以上



企業経営

付加価値  
製品

メイン飼料	トウモロコシ	輸出仕向けの割合	約4割程度
と畜頭数(上限)	一週間当たり2万3300頭	日本向けの割合	輸出向けの約半分 (週22～24コンテナ)
加工場の温度	加工室:2～4℃ 枝肉カット:4℃	日本への輸出部位	ロイン、リブ、ウデ、 バックファット、シーズンド ポーク、トンカツ用の肉
生産量	9万7000トン	輸出向けチルドの賞味期限	平均55日 (50～60日)
冷蔵品:冷凍品の割合	25%:75% (輸出品)	と畜から工場出荷までの所要時間	2日程度

資料:Keken社への聞き取りを基に機構作成



1. メキシコ豚肉の需給概要
2. 日本向けの輸出動向
3. 輸出企業の動向
4. おわりに



# 今後の展望

## 現状・展望

国内消費量 ↑

柔軟な対応

冷蔵品 💪

賞味期限 ↑

## 課題

価格

規格

サプライチェーンの  
安定性



# ご清聴ありがとうございました



## 【ご注意】

- ◆ 本日の講演内容は発表者の見解に基づくものであり、報告者が所属する組織の公式見解ではありません。
- ◆ 講演内容および資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確性を期すよう努力しておりますが、保証するものではありません。本情報の採否は各自のご判断によって行ってください。
- ◆ また、万一不利益を被る事態が生じても、主催機関および講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。



# スペイン養豚産業の動向

## ～環境対策・アニマルウェルフェアの取り組み～



(独)農畜産業振興機構 調査情報部 渡辺 淳一

『畜産の情報』2025年9月号

[https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05\\_003886.html](https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_003886.html)

1. アフリカ豚熱の発生状況と豚肉需給
2. 生産技術～環境規制とアニマルウェルフェア～
3. おわりに





1. アフリカ豚熱の発生状況と豚肉需給

2. 生産技術～環境規制とアニマルウェルフェア～

3. おわりに

# アフリカ豚熱の発生

2025年12月4日時点の確認地点

・11/28

野生イノシシでの  
発生公表

・12/16まで

野生イノシシ26頭  
で確認

・1994年11月以  
来31年ぶり

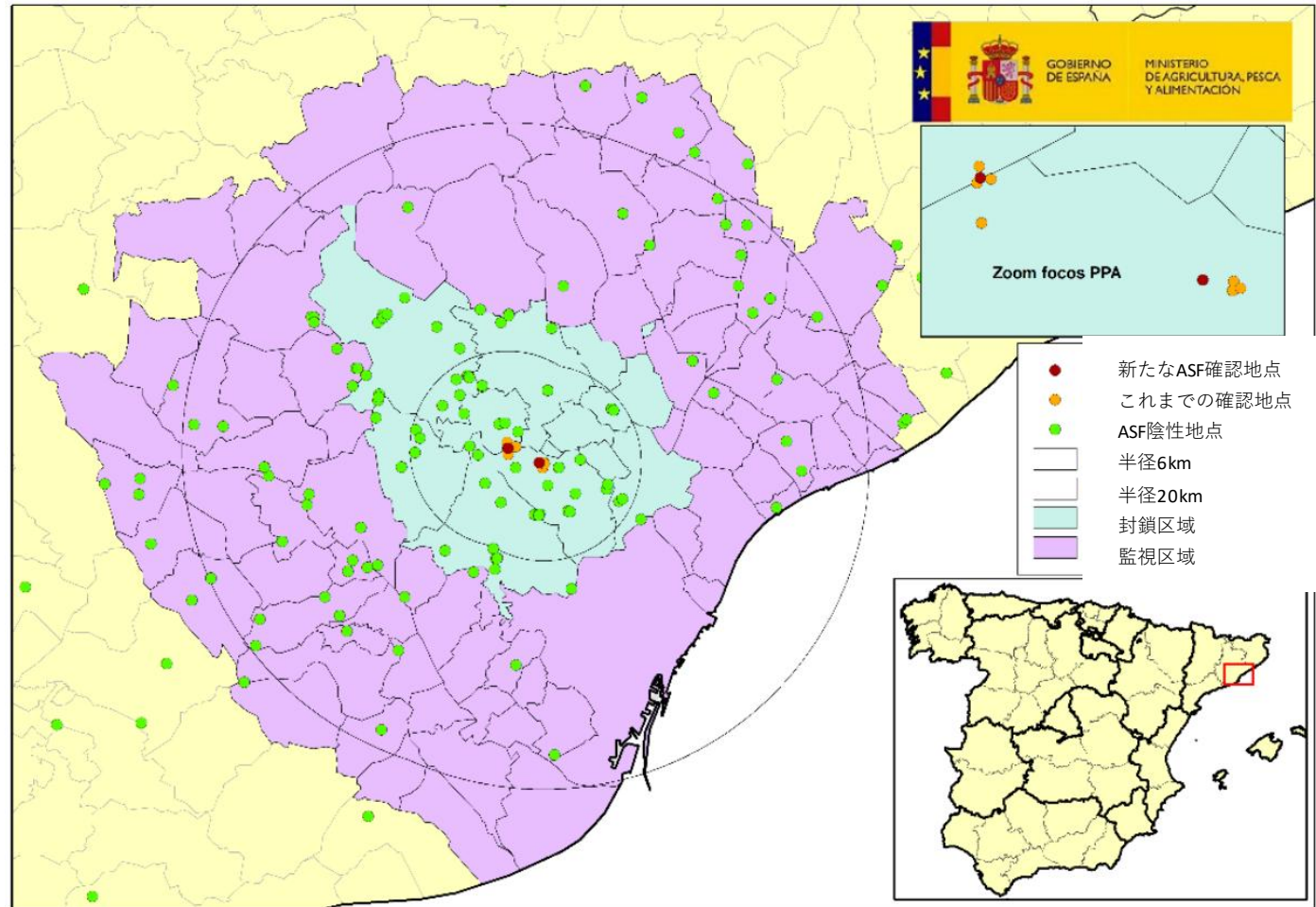


資料：WOAHおよびMAPA

# アフリカ豚熱の発生

## 封鎖区域と監視区域および陰性確認地点

- 半径6km  
→ 封鎖区域
- 半径20km  
→ 監視区域
- 陽性は封鎖区域内のみ

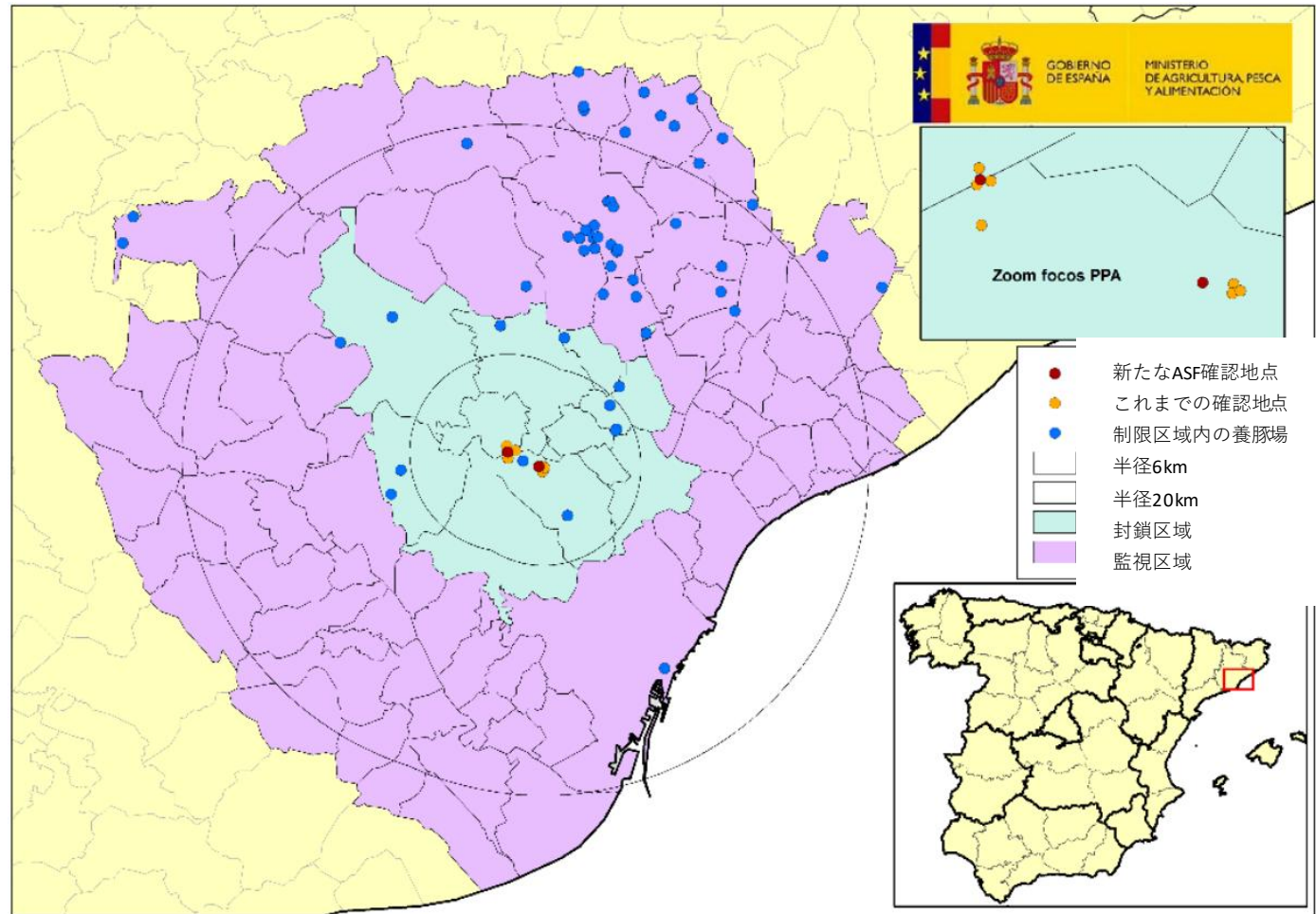


資料：MAPA

# アフリカ豚熱の発生

封鎖区域と監視区域および確認地点の周辺農場

- 半径6km  
→ 封鎖区域
- 半径20km  
→ 監視区域
- 封鎖区域および監視区域内  
の農場 → 陰性



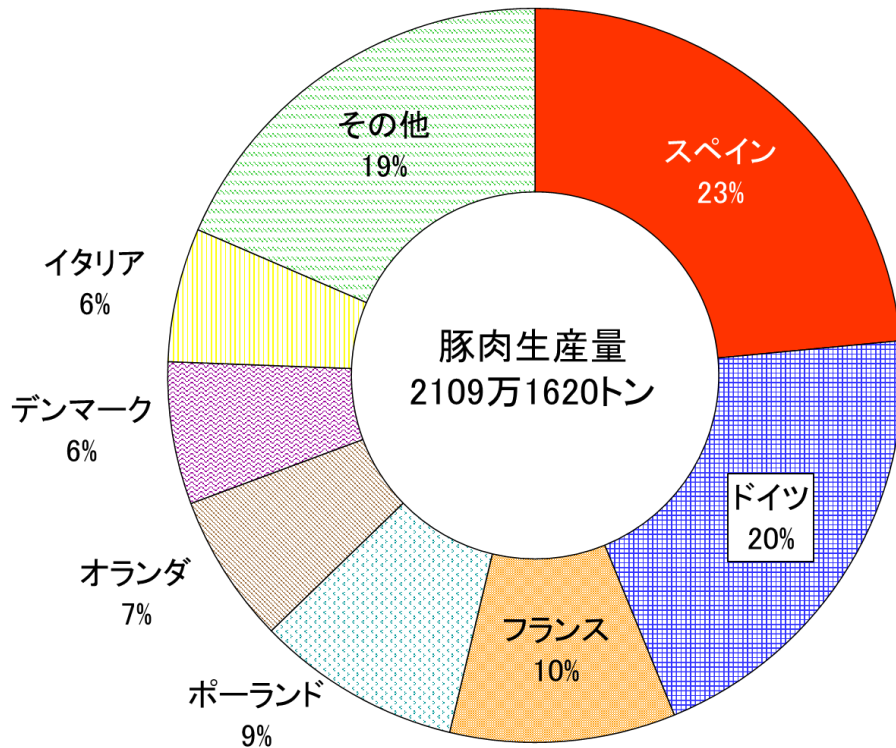
資料：MAPA



# 豚肉生産量

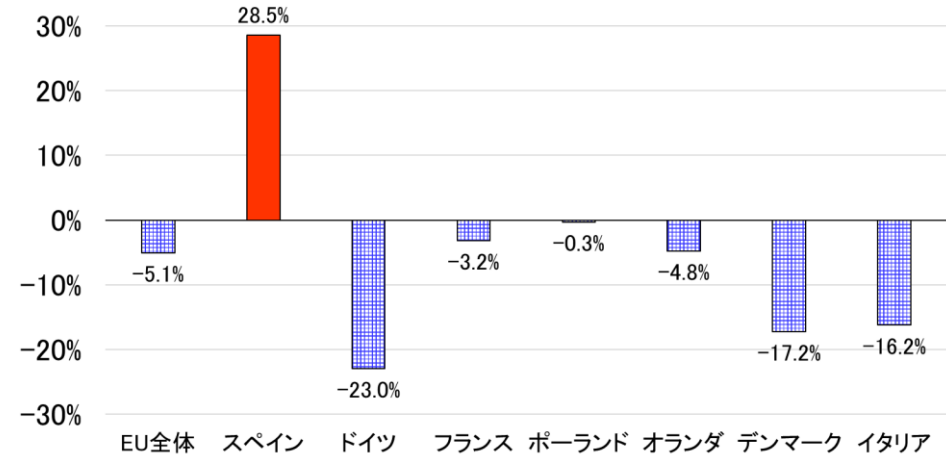
- ・養豚生産→効率生産・輸出需要大→EU第1位
- ・EU全域:環境規制・アニマルウェルフェア規制の強化→減

EUの国別豚肉生産量割合(2024年)



資料: 欧州委員会「Eurostat」

EU主要豚肉生産国の豚肉生産量の変化(2015/2024年比)



資料: 欧州委員会「Eurostat」

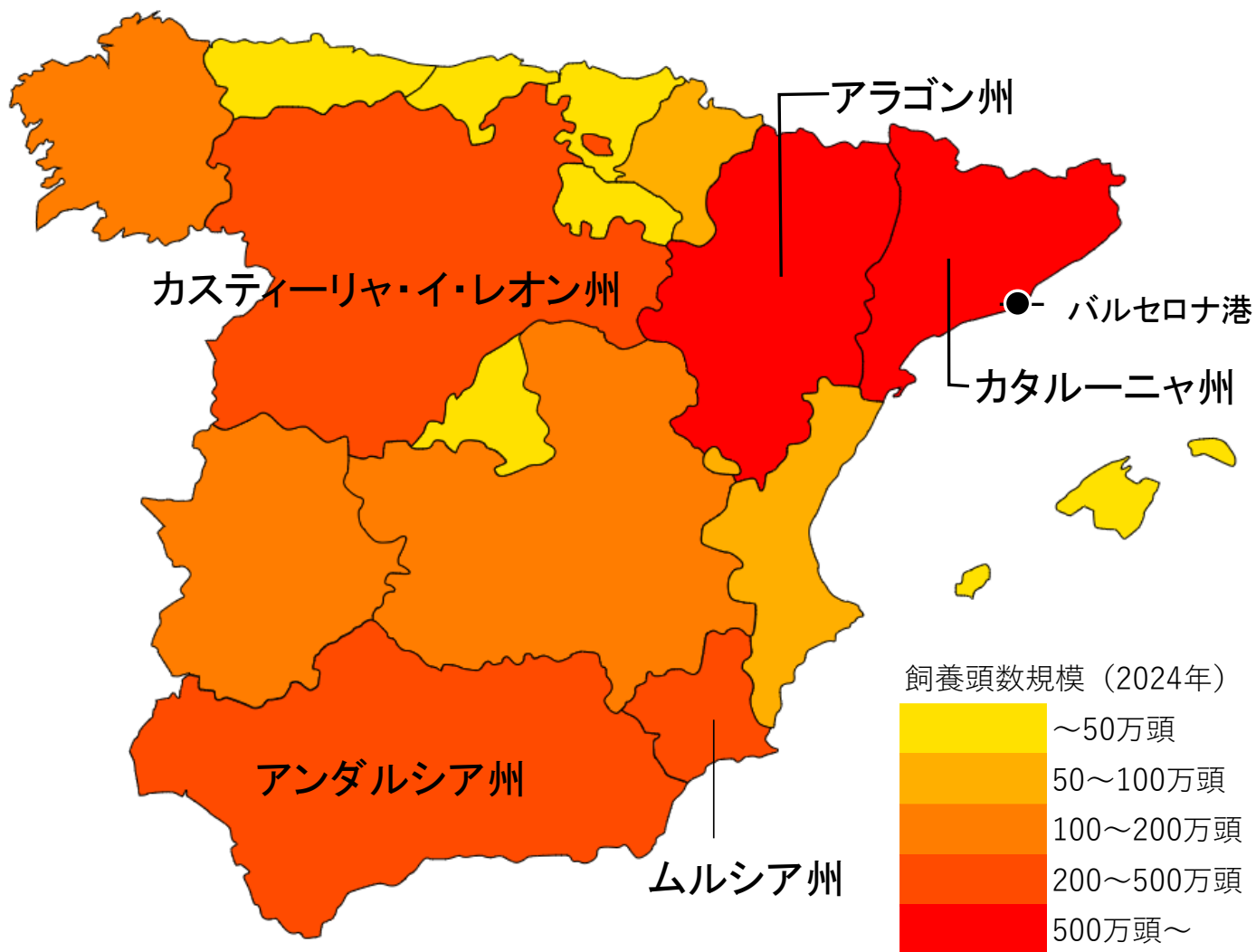


# 主要生産州(州別豚飼養頭数)

・主要産地  
アラゴン州  
カタルーニャ州

・バルセロナ港  
アクセス◎

・飼料原料輸入  
と豚肉輸出◎



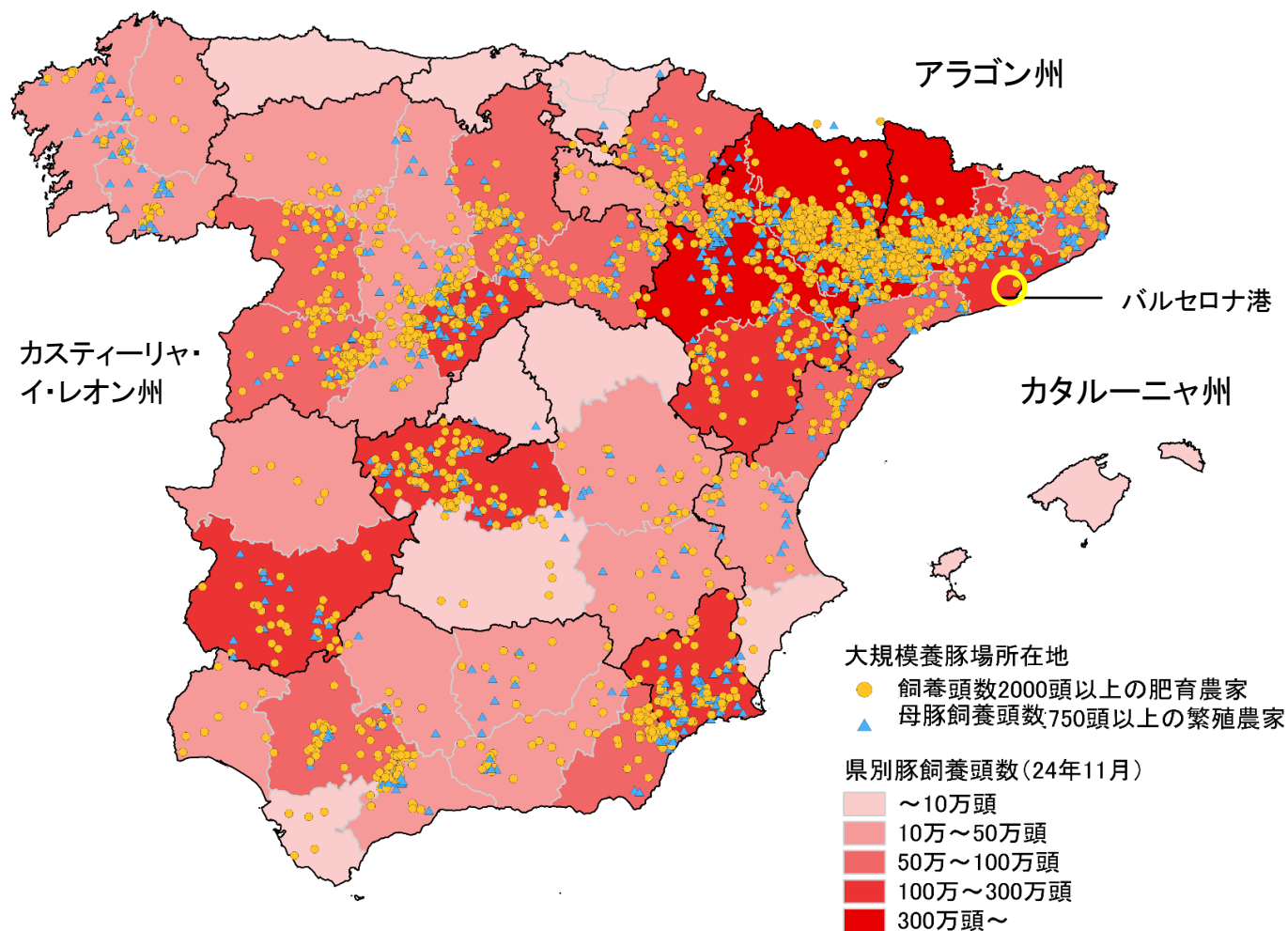
資料: Eurostatのデータを基に、機構作成





# 大規模養豚場の所在地

- ・大規模農場  
アラゴン州  
カタルーニャ州  
に集中  
→スペインの飼  
養頭数の5割
- ・多数の配合飼  
料工場(アラゴン・  
カタルーニャ)  
→飼料流通◎



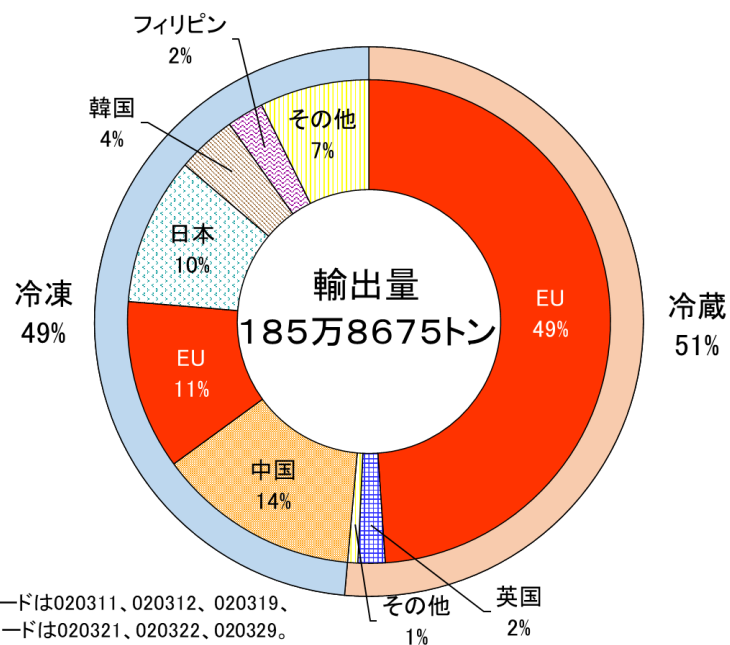
資料: スペイン農業食料環境省(MAPA)および環境移行・人口問題省(MITECO)のデータを基に、機構作成  
注: スペインには、17の自治州に50の県がある。



# 豚肉輸出

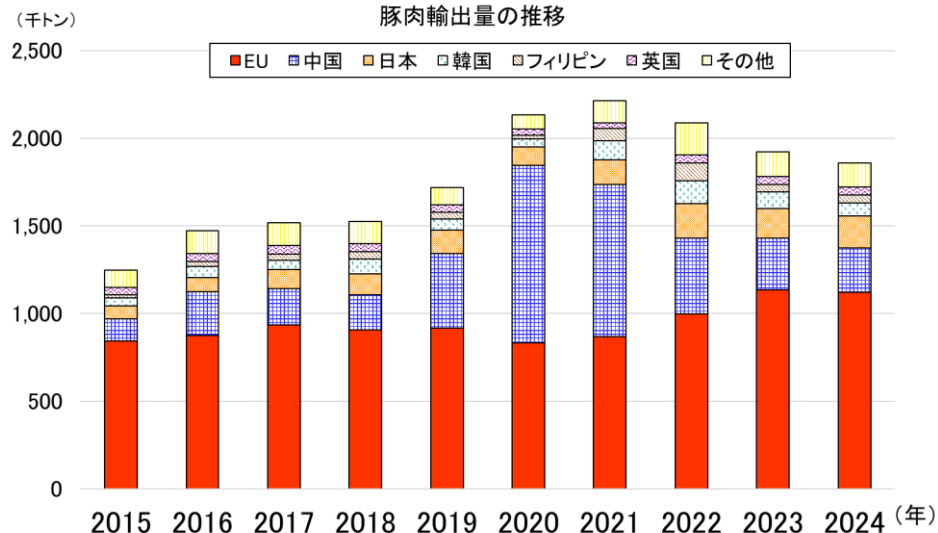
- ・輸出の6割(冷蔵5、冷凍1)→域内へ
- ・輸出の3割(冷凍)→アジアへ
- ・2020年、21年の輸出増加→中国需要

スペインの豚肉国別輸出割合(2024年)



資料: GTA  
注: 冷蔵のHSコードは020311、020312、020319、  
冷凍のHSコードは020321、020322、020329。

豚肉輸出量の推移



資料: GTA  
注: HSコードは0203。



# 主要豚肉生産国の生産量等(2024)

(単位：千トン、kg/頭、千頭、円/kg)

	豚肉生産量	枝肉重量	飼養頭数			輸出			生体輸出頭数		豚肉輸入量
			総頭数	50kg未満	肥育豚 50kg以上	豚肉輸出 数量	単価		50kg未満	50kg以上	
スペイン	4,955	92	34,565	18,531	2,611	域内 + 英国	862	-	82	719	92
						中国	189	375			
						日本	137	653			
						韓国	56	627			
						その他	133	-			
						計	1,377	544			
フランス	2,094	95	11,715	5,990	836	域内 + 英国	235	-	4	194	213
						中国	34	324			
						フィリピン	19	449			
						日本	12	687			
						その他	19	-			
						計	318	412			
オランダ	1,387	100	10,192	6,025	801	域内 + 英国	498	-	5,650	890	153
						中国	51	305			
						韓国	27	717			
						フィリピン	23	455			
						日本	12	705			
						その他	78	-			
デンマーク	1,323	93	11,583	7,905	1,159	域内 + 英国	477	-	13,273	350	35
						日本	50	717			
						中国	45	331			
						豪州	28	662			
						その他	69	-			
						計	669	476			




資料：欧州委員会「Eurostat」、Global Trade Atlas

注1：HSコードは豚肉0203、生体50kg未満010391、生体50kg以上010392

注2：飼養頭数は12月時点

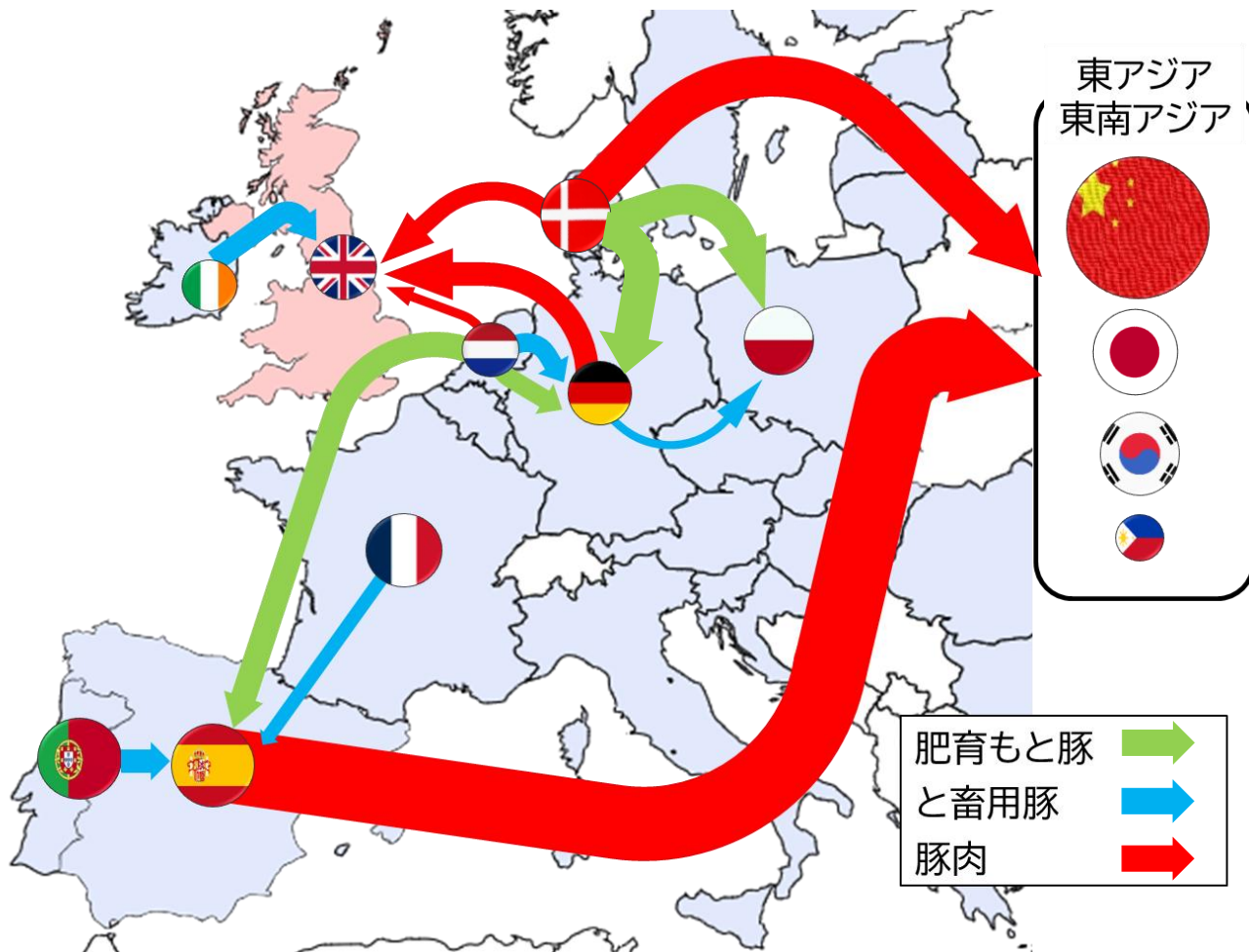
# 豚肉および生体豚の動き

## ・豚肉輸出

-  スペイン
-  デンマーク
-  ドイツ(英国向け)

## ・生体輸出

-  デンマーク
-  オランダ
-  ポルトガル
-  アイルランド





# バイオセキュリティ

- ・スペイン白豚生産加工者協会(INTERPORC)  
→IAWS技術規則を策定(2019)
- ・AW、AWラベル、バイオセキュリティを規定
- ・疾病を「入れない」、「持ち出さない」、「広げない」



養豚場を囲む二重柵(左)と柵外から開閉可能な飼料タンク(右)



# スペインの豚肉需給

- ・自給率: 200%越え  
→ 輸出大国
- ・消費量: 横ばい～やや減少



## 豚肉需給の推移

(単位: 千トン、kg/人、%)

	2014年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
生産量	3,625	3,855	4,181	4,299	4,521	4,627	5,024	5,180	5,066	4,871
輸入量	202	253	247	253	223	213	215	261	220	204
輸出量	1,381	1,622	1,913	2,020	2,074	2,373	2,897	3,021	2,860	2,696
消費量	2,447	2,486	2,516	2,532	2,670	2,467	2,341	2,438	2,426	2,378
1人当たりの消費量	52.7	53.5	54.2	54.4	56.6	52.2	49.6	49.6	51.4	49.6
自給率	148	155	166	170	171	188	214	213	209	205

資料: MAPA



# インテグレーションの概要

## ・生産者

→生産費と収入の安定

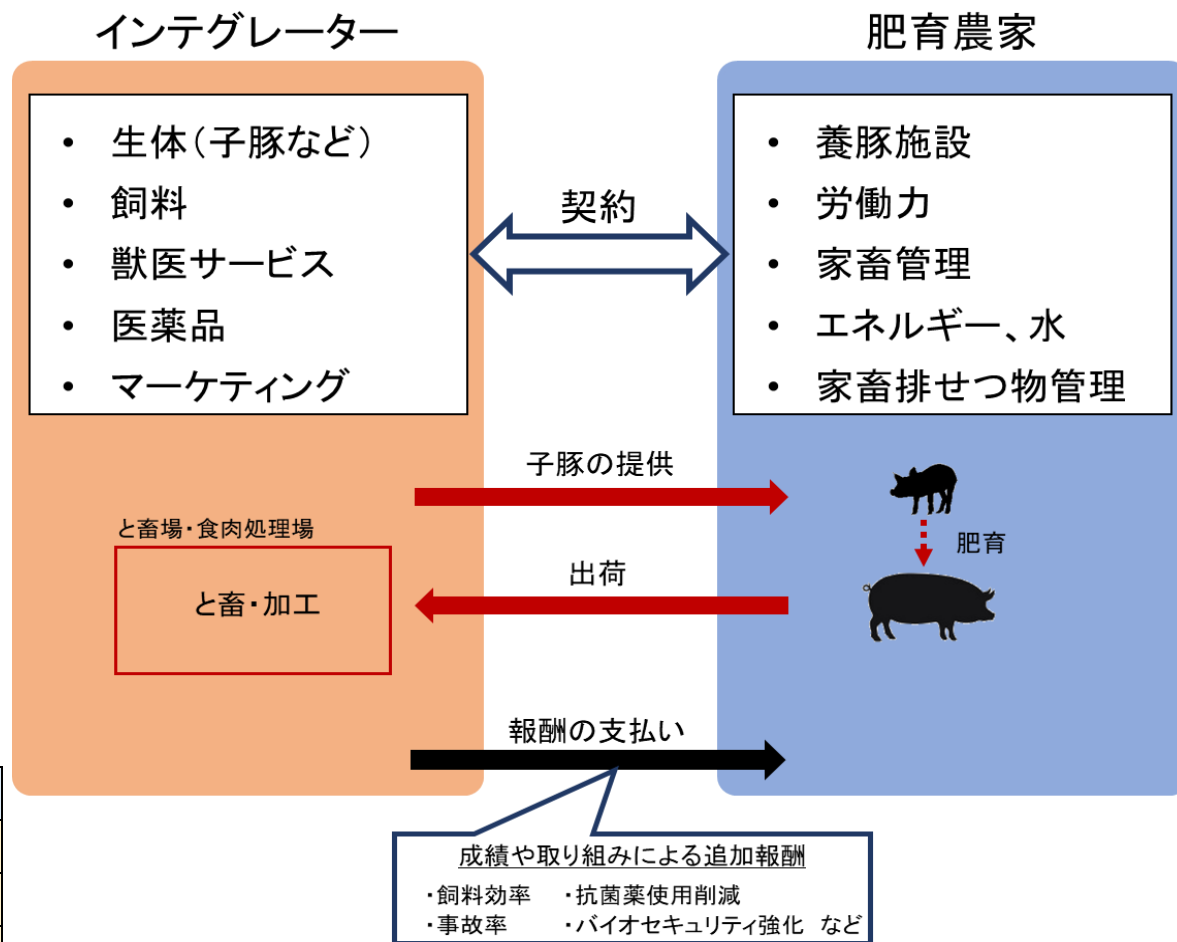
## ・インテグレーター

→配合飼料生産、食肉加工、マーケティングなどに特化

## ・インテグレーション

→生産体系の効率化

### 肥育農家のインテグレーション契約の例



タイプ別養豚生産者の割合

(単位: %)

	2015年	21年	増減率
インテグレーション	65	74	9
協同組合	17	15	▲2
独立	18	11	▲7

資料: ANPROGAPOR

資料: ANPROGAPORの資料を基に、機構作成





# 繁殖成績とともと豚輸入

- ・豚繁殖・呼吸障害症候群(PRRS)  
→子豚死亡率↗、年間離乳頭数↘(2020年～)

- ・生体豚の輸入増加→と畜頭数を確保

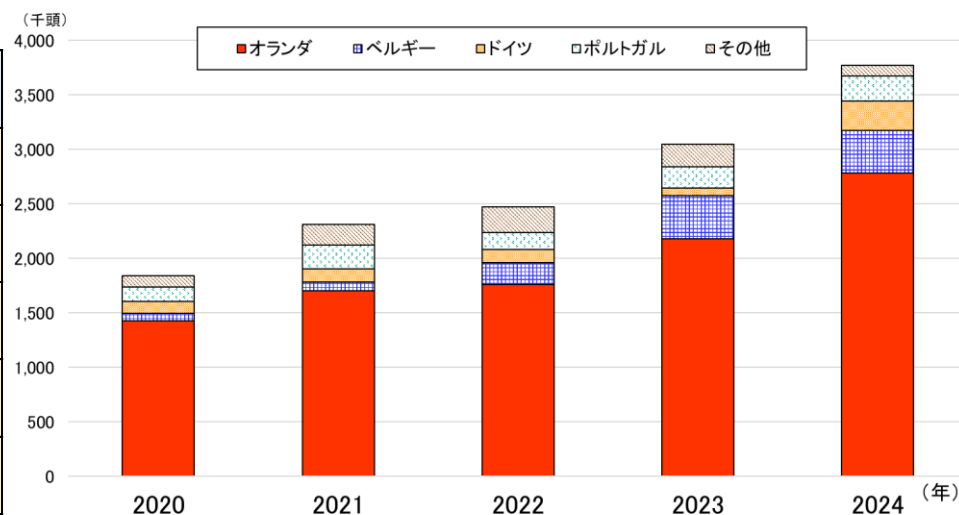
近年のスペインの繁殖成績

(単位: 頭、回)

	2020年	21年	22年	23年
1腹当たり生産頭数	14.3	14.3	14.3	14.3
子豚死亡率	14.3%	14.5%	15.1%	15.6%
離乳豚死亡率	4.8%	5.3%	7.9%	8.4%
年間分娩回数	2.3	2.28	2.25	2.21
年間離乳頭数	28.12	27.85	27.22	26.75

資料: InterPIGおよびSEGES INNOVATION

スペインの子豚生体輸入頭数



資料: Global Trade Atlas (GTA)  
注: HSコードは010391。



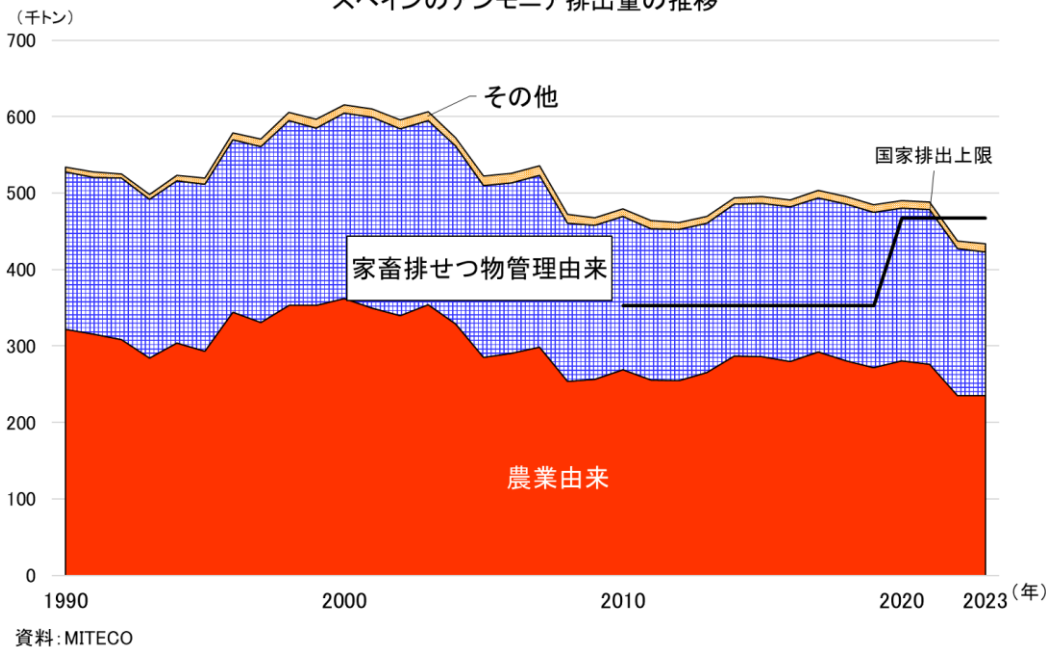
1. アフリカ豚熱の発生状況と豚肉需給
2. 生産技術～環境規制とアニマルウェルフェア～
3. おわりに



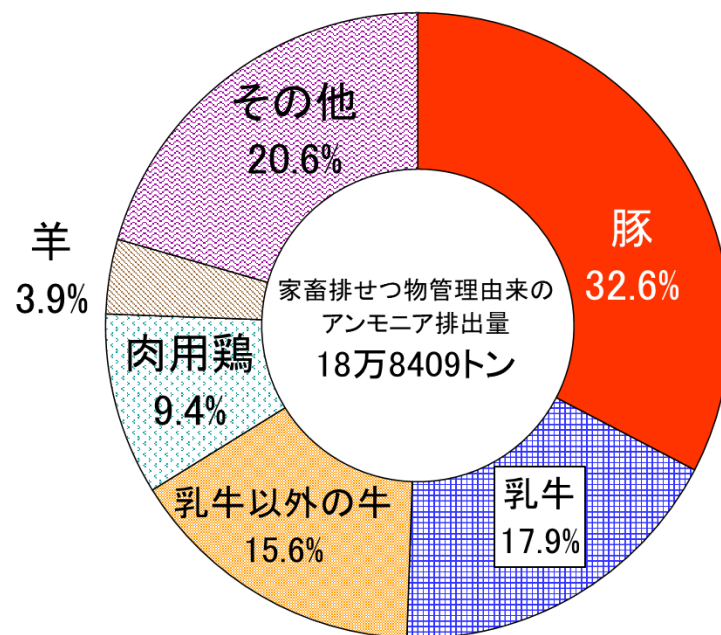
# 環境規制～アンモニア排出量～

- ・豚飼養頭数増→家畜排せつ物量増
- ・アンモニア排出量→43.3%が家畜排せつ物由来
- ・家畜排せつ物由来の32.6%が養豚由来

スペインのアンモニア排出量の推移



スペインの畜種別排せつ物管理由来のアンモニア排出量の内訳(2023年)



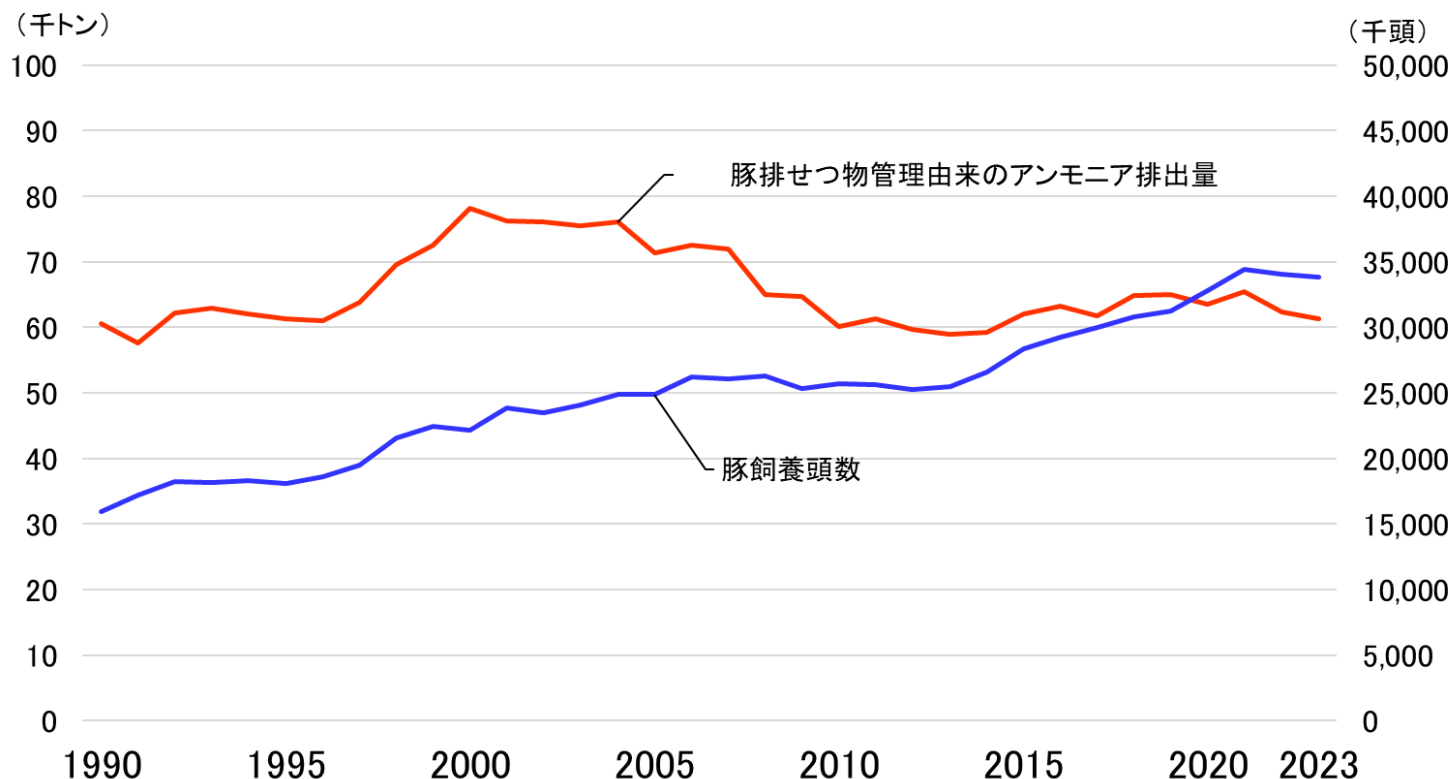
資料: MITECO



# 養豚由来アンモニア排出の改善

- ・養豚由来のアンモニア排出量は減少傾向(2000年ピーク)  
← 飼料管理の義務化、排せつ物農地散布の規制強化

豚のアンモニア排出量および飼養頭数の推移



資料: MITECOおよび欧州委員会「Eurostat」のデータを基に、機構作成

注: 豚飼養頭数は各年11月時点。



# 環境規制対策の例

- ・ICタグ付き耳標→採食量・採食時間の記録、個体管理
- ・豚舎内の気温・アンモニア→センサーによる換気口の自動開閉
- ・排せつ物→固形分:有機肥料、液体分:灌漑用水







# アニマルウェルフェア～断尾や去勢～

- ・慣行的な断尾×→尾かじりが発生した場合の断尾へ
- ・肥育雄豚の9割が未去勢

1頭当たりの最低飼養面積(離乳子豚、肥育豚)

生体重	最低飼養面積(m <sup>2</sup> /頭)	
	新たな規制 (勅令159/2023)	従来の規制 (勅令1135/2002)
10kg未満	0.20	0.15
10kg以上20kg未満	0.24	0.20
20kg以上30kg未満	0.30	0.30
30kg以上50kg未満	0.45	0.40
50kg以上85kg未満	0.65	0.55
85kg以上110kg未満	0.74	0.65
110kg以上130kg未満	1.00	1.00
130kg以上	1.30	1.30

資料: スペイン勅令159/2023および1135/2002



去勢されていない雄の肥育豚

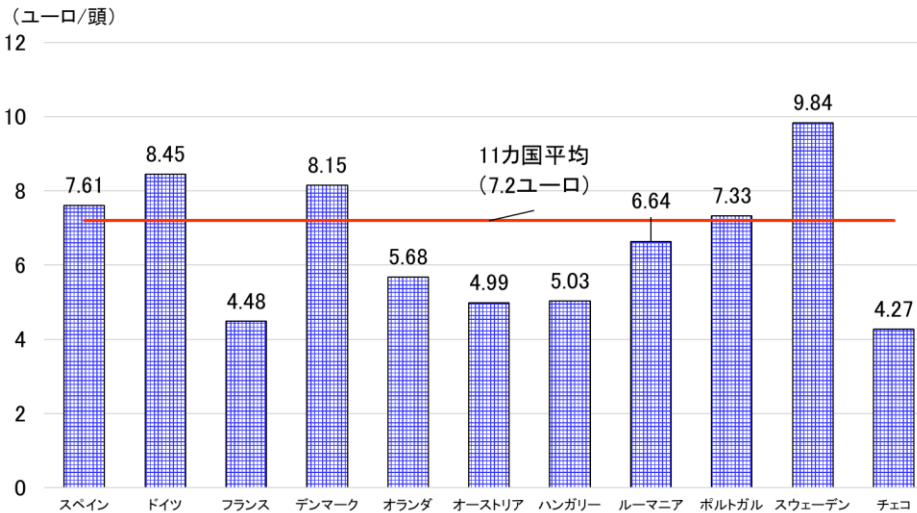
# AWの厳格化の影響

## ・輸送規制

→夏高温+広い国土のスペイン畜産業界に影響

## ・分娩ストールの使用制限

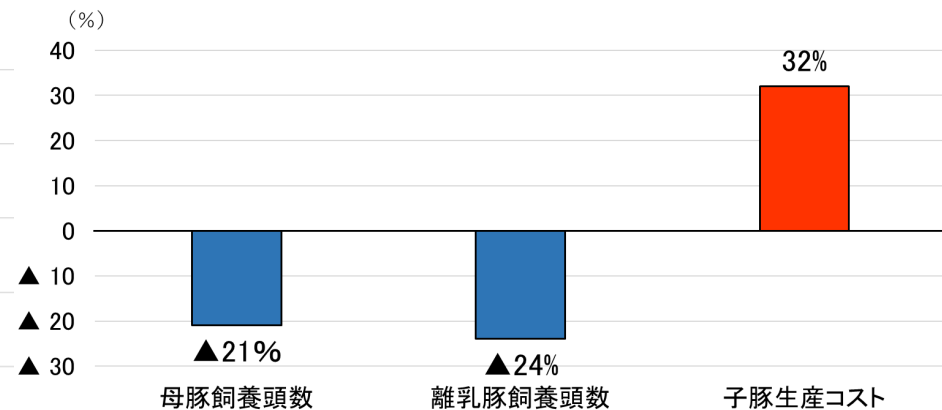
輸送規則見直し案による追加輸送コストの試算



資料: フランス豚肉研究所 (ifip)

注: と畜出荷豚1頭当たりの追加コスト

分娩ストールの使用規制による豚飼養頭数および子豚生産コストの変化試算



資料: ハンガリー農業経済研究所 (AKI)

注: 2021年の飼養頭数および生産コストを100とした場合の数値





# 今後のAWを見据えた繁殖農場

- ・現行基準以上の面積の群飼や分娩豚房
- ・分娩クレートの使用は7日間→繁殖成績向上



大規模繁殖農家Green Pork





# インテグレーターのパイロット肥育場

- ・独自の冷却技術など→飼養管理の効率化
- ・導入インセンティブ→生産効率の最大化



技術の導入テストの様子  
一般的な肥育舎と同じレイアウトに設計されている。



1. アフリカ豚熱の発生状況と豚肉需給
2. 生産技術～環境規制とアニマルウェルフェア～
3. おわりに



# ご清聴ありがとうございました

## 【ご注意】

- ◆ 本日の講演内容は発表者の見解に基づくものであり、報告者が所属する組織の公式見解ではありません。
- ◆ 講演内容および資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確性を期すよう努力しておりますが、保証するものではありません。本情報の採否は各自のご判断によって行ってください。
- ◆ また、万一不利益を被る事態が生じても、主催機関および講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。



# ブラジル養豚産業の現状と 豚肉の輸出拡大に向けた取り組み



(独) 農畜産業振興機構 調査情報部 原田 祥太

『畜産の情報』 2025年11月号

[https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05\\_003963.html](https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_003963.html)



# 本日の話題

1. 注目点
2. ブラジル養豚の概要
3. 需給動向
4. 輸出動向
5. まとめ



# 注目点

- ・育種で重視している点
- ・他国と比較した生産の強み
- ・輸出先の変化(日本向けは?)
- ・輸出拡大に向けた取り組み、課題





# 本日の話題

1. 注目点
2. **ブラジル養豚の概要**
3. 需給動向
4. 輸出動向
5. まとめ

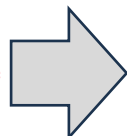
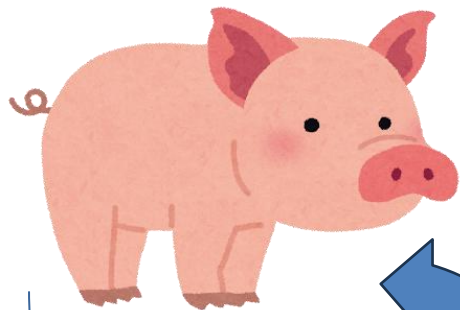


# 豚肉生産体制

生産

加工

販売



インテグレーター

母豚数

独立系  
生産者

30%

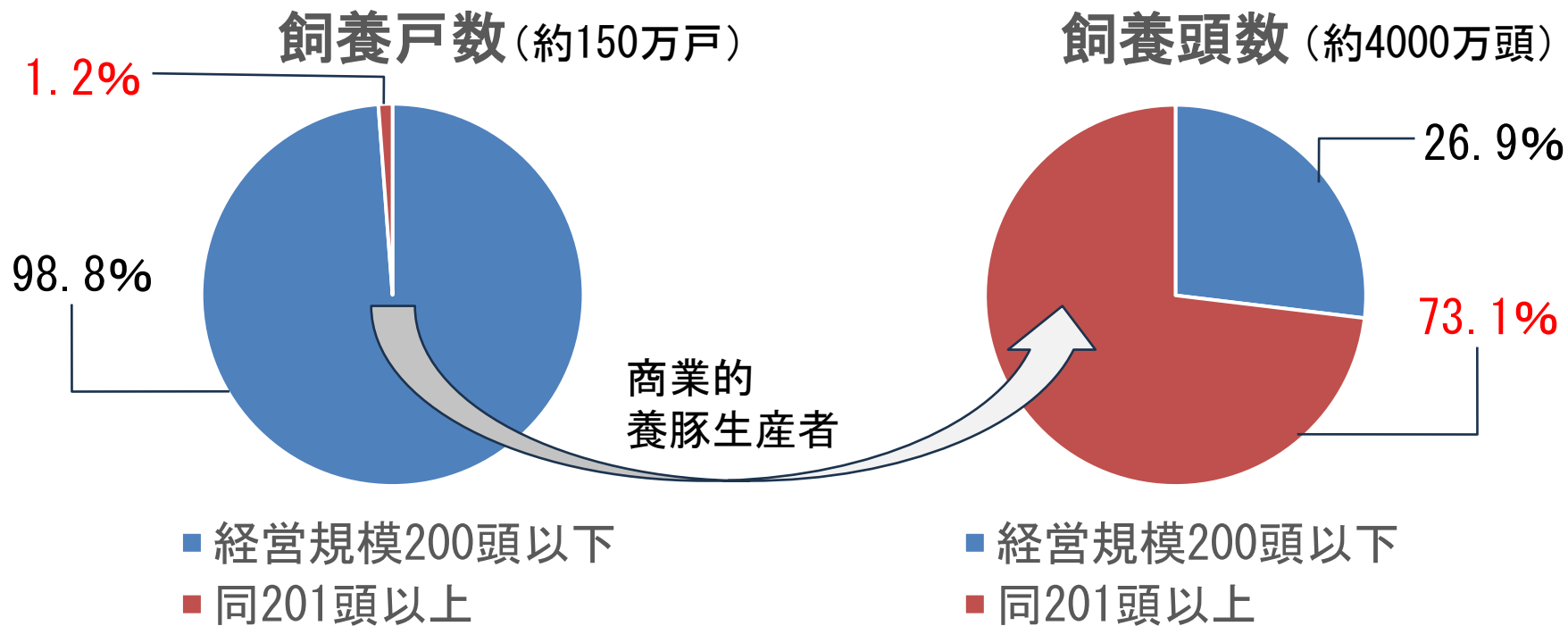
70%

インテグレーター  
傘下の生産者

- ・ 生体豚
- ・ 飼料
- ・ 医薬品
- ・ 獣医師の定期訪問
- ・ 出荷トラックの手配



# 養豚生産者の規模（2017年）





# 規模別養豚生産者数（2017年）

ブラジルの豚飼養戸数および飼養頭数（2017年）

（単位：戸、千頭、％）

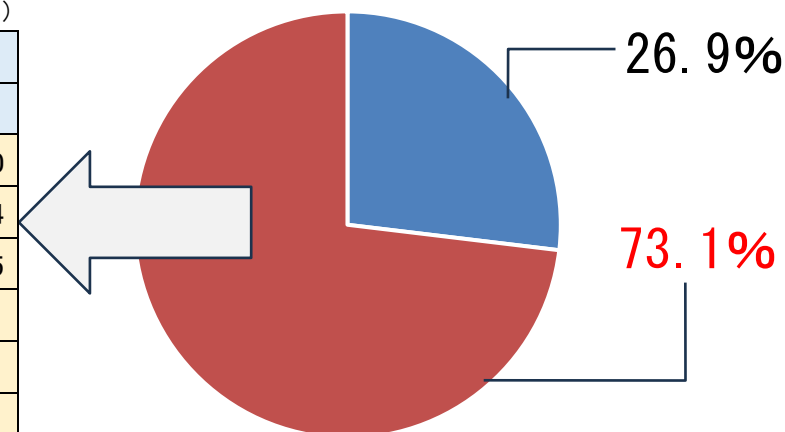
商業的養豚生産者	経営規模	飼養戸数		飼養頭数	
			割合		割合
	201～500頭	5,136	0.3	1,967	5.0
	501～1000頭	5,489	0.4	4,095	10.4
	1001～5000頭	5,085	0.3	10,439	26.5
	5001頭以上	820	0.1	11,056	28.1
	不明	953	0.1	1,202	3.1
小計		17,483	1.2	28,759	73.1
合計		1,471,270		39,346	

資料：IBGE「2017年農業センサス」を基にしたEMBRAPAの分析

注1：小計には、EMBRAPAの分析上、経営規模が不明な商業的養豚生産者の戸数および頭数が含まれている。

注2：割合は合計に対するもの。

飼養頭数（約4000万頭）

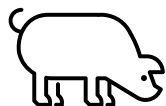


- 経営規模200頭以下
- 同201頭以上



# 育種改良

雌系



ランドレース種  
大ヨークシャー種



雄系



デュロック種  
ピエトレン種

## 繁殖・肥育成績の比較

項目	ブラジル	日本
年間離乳頭数	28.6頭	24.2頭
年間分娩回数	2.3回	2.3回
出荷体重	125kg	114kg
出荷日齢	175日	184日
飼料要求率	2.46	2.92

資料: EMBRAPA(2022年)、農林水産省(2020～22年度平均)

注: 「離乳」とは、ブラジルの場合は7kg(26日齢)時点、  
日本の場合は3週齢時点。



# 現地のスーパー、レストラン







# 現地のスーパー



約 9 割が加工用に







# 冷凍食品



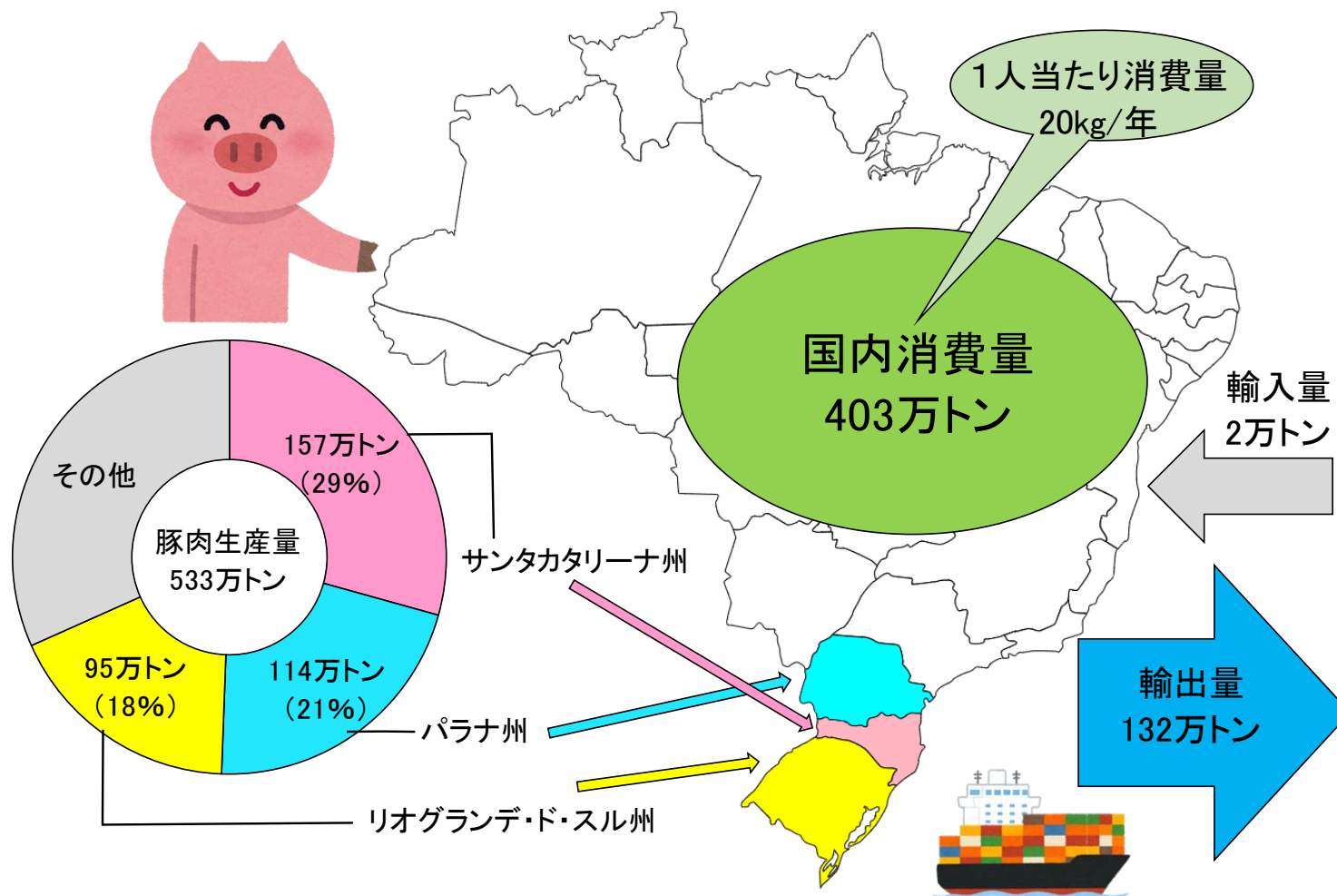


# 本日の話題

1. 注目点
2. ブラジル養豚の概要
3. 需給動向
4. 輸出動向
5. まとめ



# 豚肉需給の全体像（2024年）



資料：CONABの公開情報から機構作成  
注：枝肉重量ベース。



# ブラジルの一般的なランチ







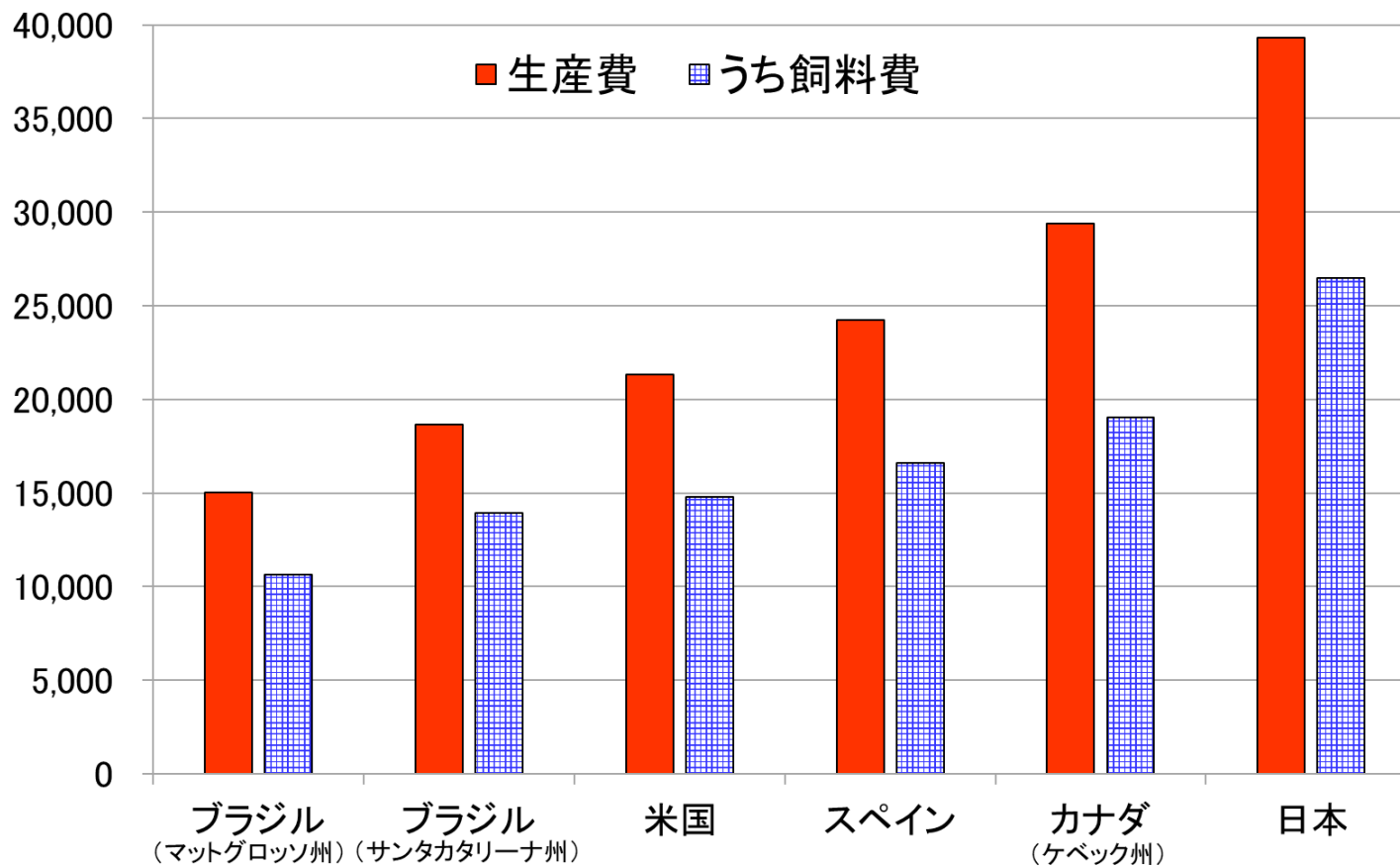
# 豚肉料理専門レストラン





# 肥育豚生産費の比較

(円/生体100kg)



資料: InterPIG (ブラジル、米国、スペイン(2023年))、CECPA (カナダ(22年))、農林水産省 (日本(23年))

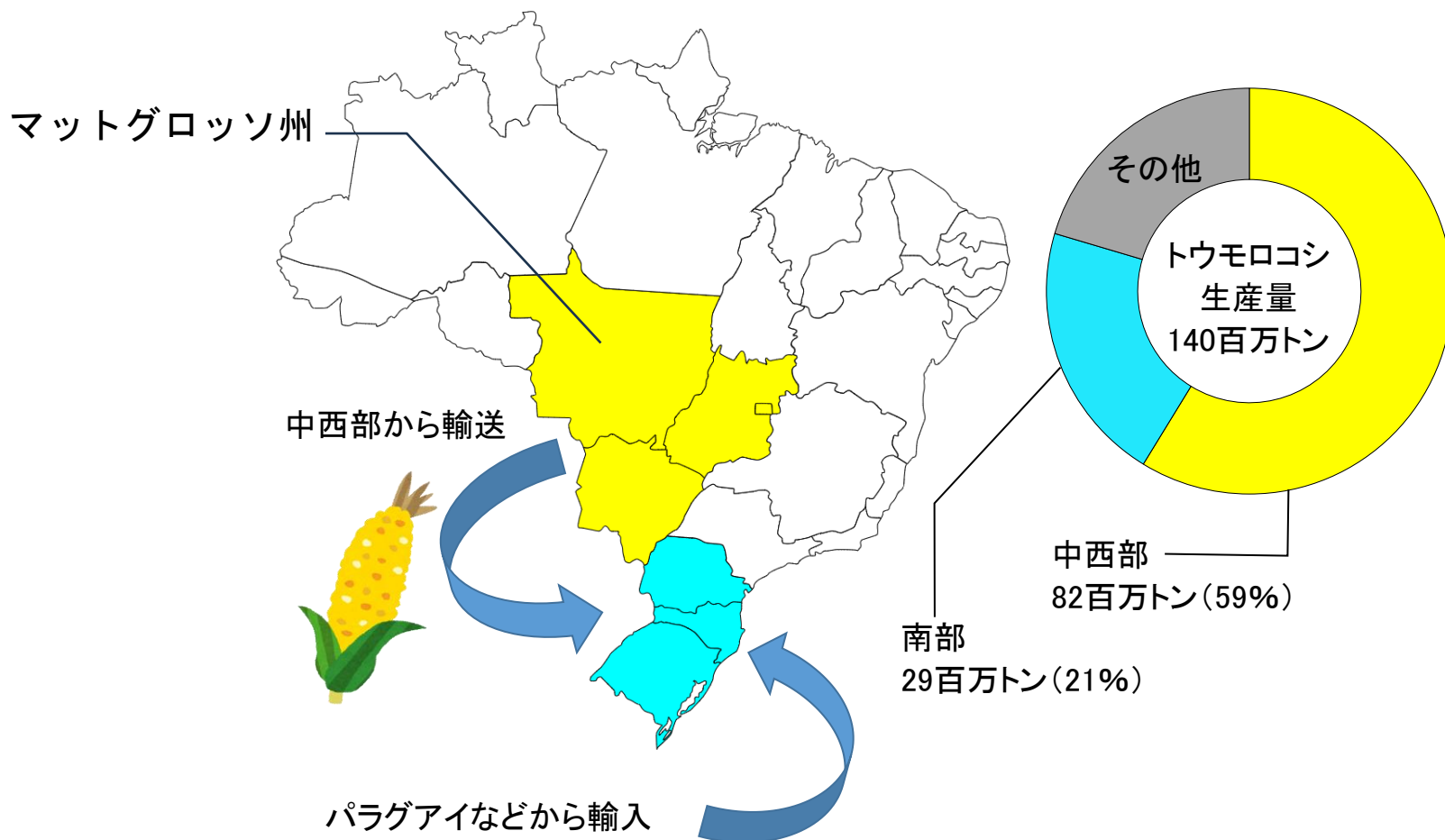
注1: 三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社「月末・月中平均の為替相場」の2025年8月末のTTS相場を使用。

注2: 枝肉の歩留りを70%として機構が換算。





# トウモロコシ生産量と生産地の関係



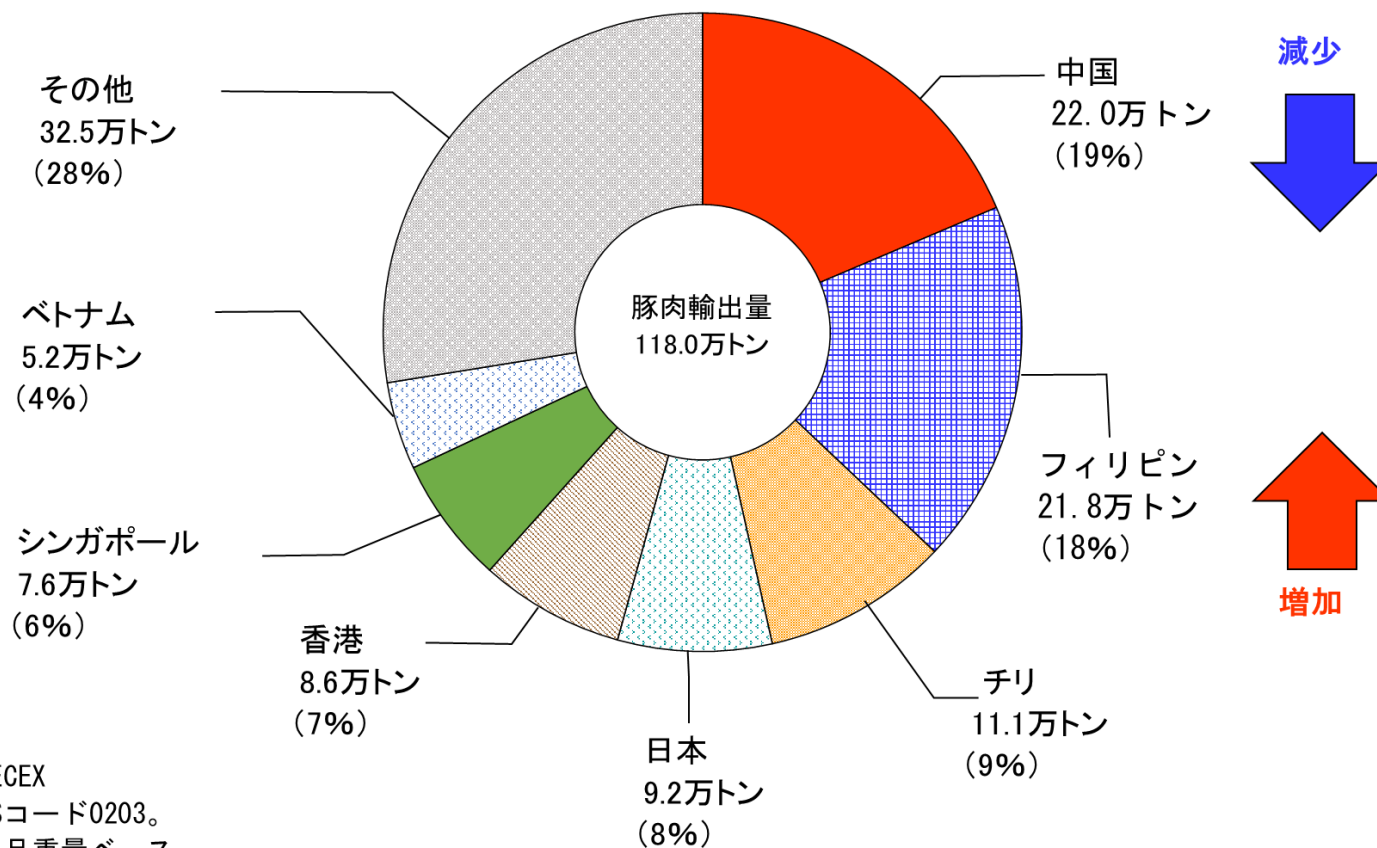


# 本日の話題

1. 注目点
2. ブラジル養豚の概要
3. 需給動向
4. 輸出動向
5. まとめ



# 豚肉輸出先の割合（2024年）



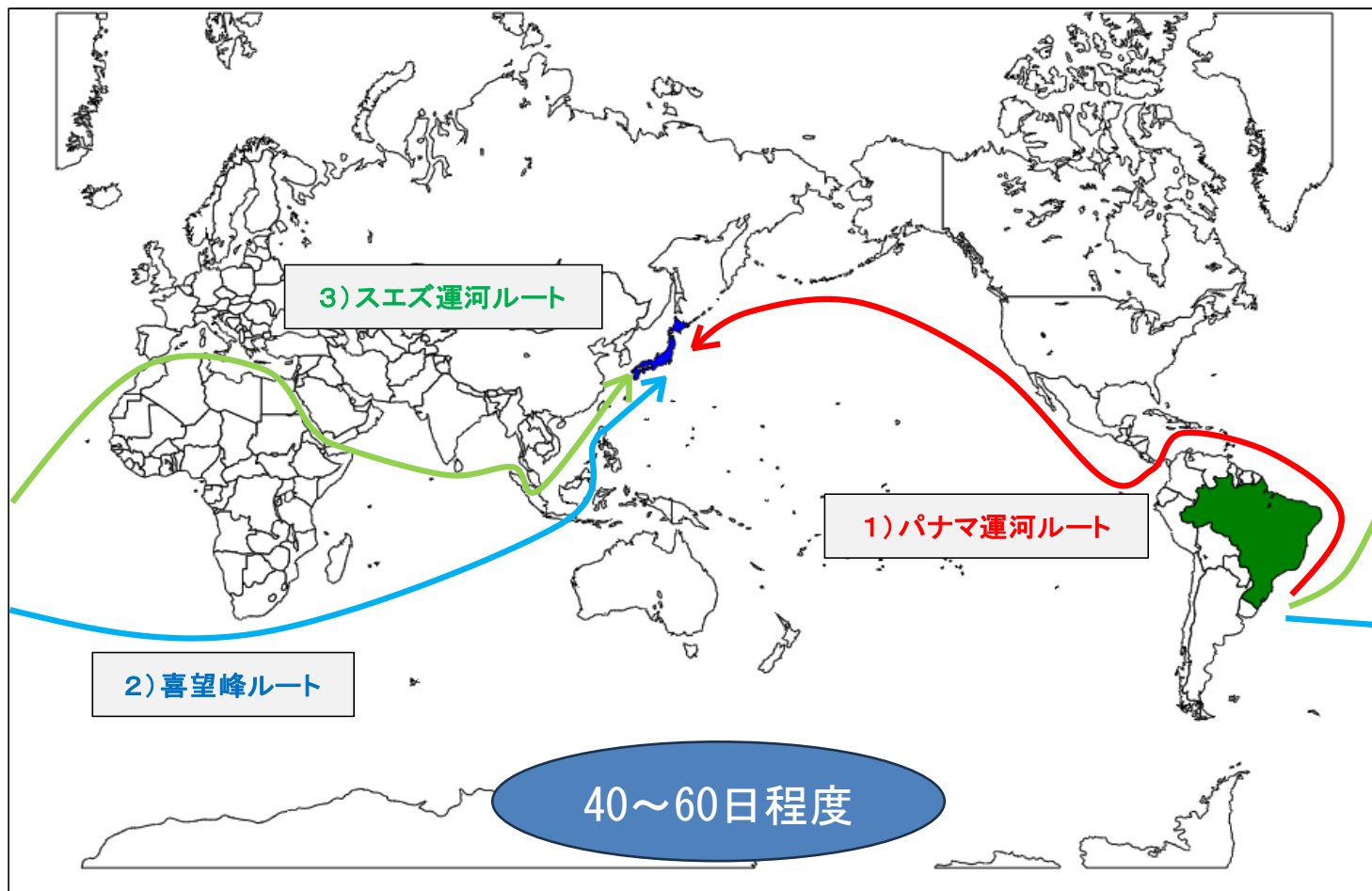
資料：SECEX

注1：HSコード0203。

注2：製品重量ベース。



# ブラジルから日本への海上輸送ルート

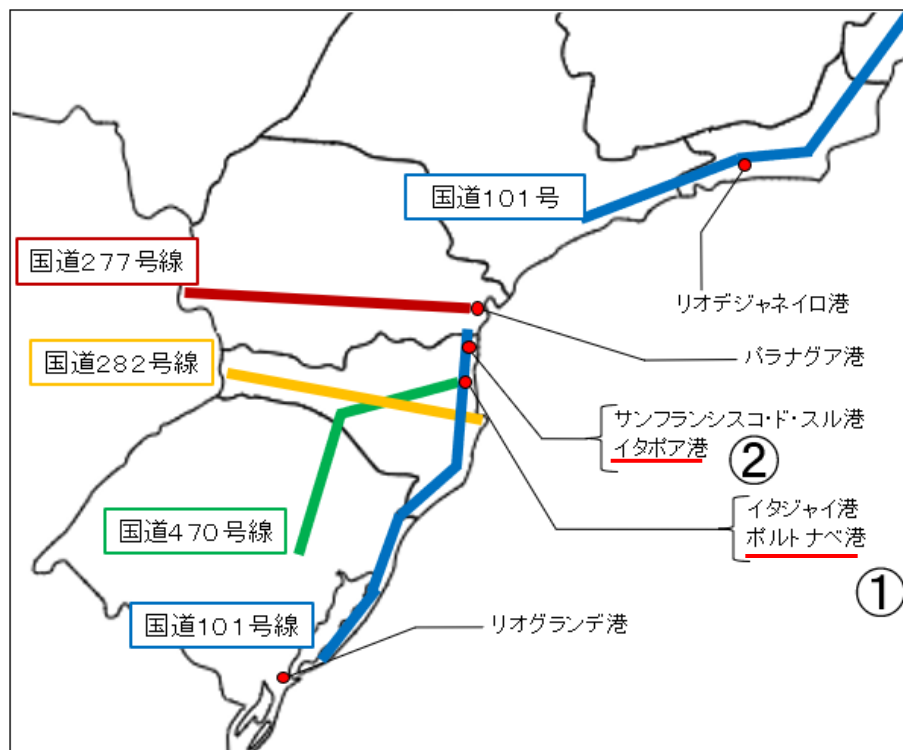


資料: 調査での聞き取りを基に機構作成



# 輸出港の課題と投資計画

## 港までの輸送で使用する主要な国道



資料:調査での聞き取りを基に機構作成

**交通渋滞が問題視！**

(注) TEUとは「twenty-foot equivalent unit」の略称。  
20フィートのコンテナの個数。

## 投資計画

### ①ポルトナベ港

- ・コンテナヤード拡張
- ・岸の整備
- ・400メートル級大型船舶  
(2026年末)
- ・取扱150万→200万TEU (注)  
(24年→27年)

### ②イタボア港

- ・コンテナヤード拡張
- ・岸の整備
- ・設備改修
- ・湾の水深14m→16m
- ・336メートル級大型船舶
- ・取扱120万→200万TEU  
(24年→29年)



# BRF社の動向



- ・ ブラジルを代表する大手食品加工会社
- ・ 従業員数約10万人
- ・ 約120カ国に、年間500万トンの食品を供給



サンタカタリーナ州 カンポスノヴォス工場

(注) 2025年9月22日付けで、BRFとMarfrig Global Foodsが合併し、MBRF Global Foods Companyが設立された。ただし、本資料では取材時点の社名を使用する。





# Frimesa社の動向



- ・ パラナ州で最大規模の食品加工会社
- ・ 従業員数約1万3千人
- ・ 豚の年間と畜頭数は320万頭



パラナ州 本社兼工場



# まとめ

- 育種改良は多産、増体を重視
- 穀物大国で生産コストが低い
- 輸出量は中国向け減、アジア・米州増  
日本向けは増、しかし現場の作業工程は多い
- インテグレーター、港は輸出意欲はあるが、  
交通渋滞が問題

# ご清聴ありがとうございました

## 【ご注意】

- ◆ 本日の講演内容は発表者の見解に基づくものであり、報告者が所属する組織の公式見解ではありません。
- ◆ 講演内容および資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確性を期すよう努力しておりますが、保証するものではありません。本情報の採否は各自のご判断によって行ってください。
- ◆ また、万一不利益を被る事態が生じても、主催機関および講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。



# 中国の養豚をめぐる動向と 大規模化を担う「ビル養豚」の現状

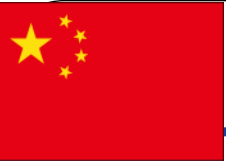


写真提供:揚翔グループ

(独)農畜産業振興機構 調査情報部 平山 宗幸

『畜産の情報』2025年4月号

[https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05\\_003657.html](https://www.alic.go.jp/joho-c/joho05_003657.html)



1. 中国養豚の概要
2. 養豚ビルに関連する主要政策と建設状況
3. 養豚ビルの実態
4. おわりに



1. 中国養豚の概要
2. 養豚ビルに関連する主要政策と建設状況
3. 養豚ビルの実態
4. おわりに

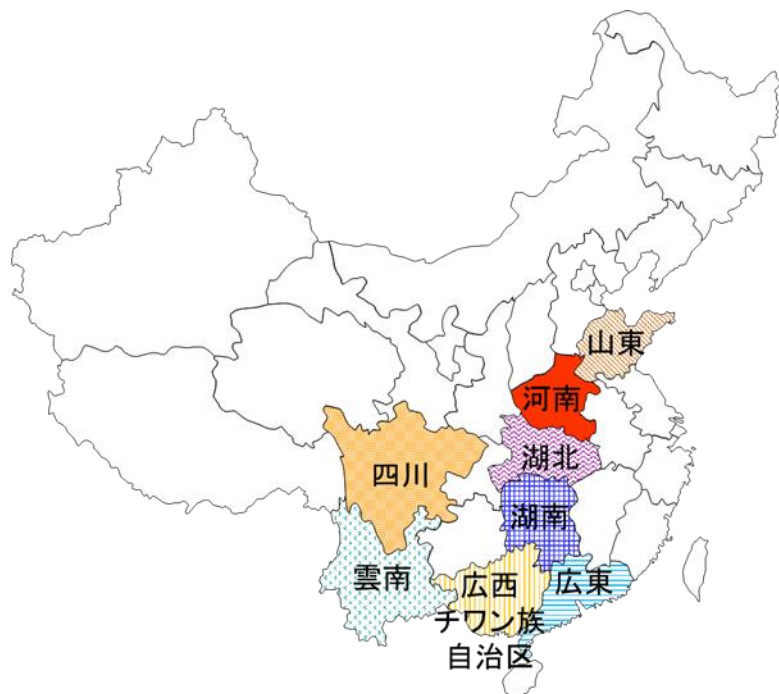




# 養豚の位置付けと産地

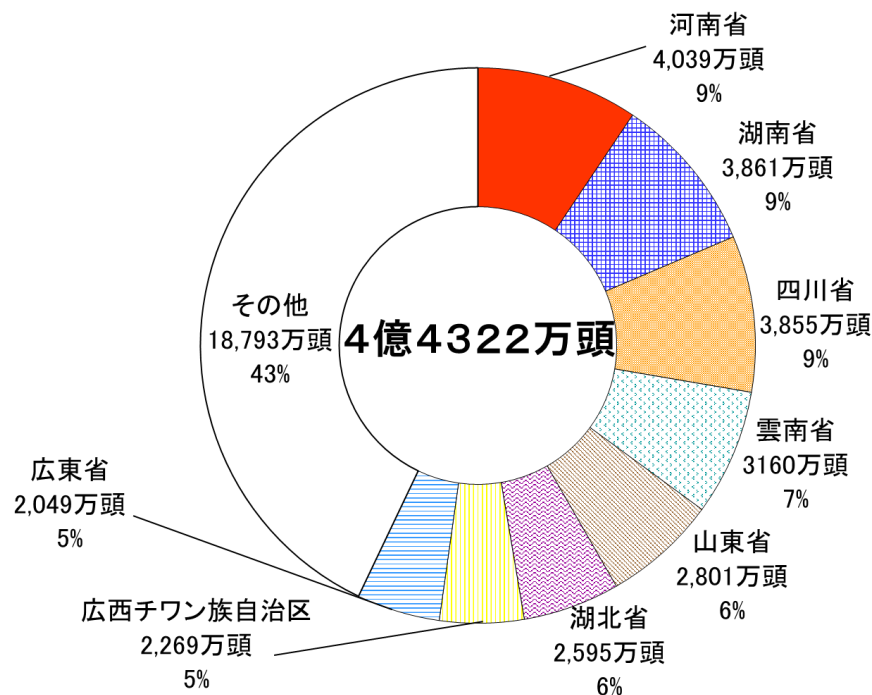
- 中国にとって豚肉は最も重要な食肉であり、食肉生産量の約6割を占める
- 2024年の豚肉生産量は、世界第1位であり、全世界の生産量の約5割を占める
- 豚飼養頭数は山東省以南に多く、上位8省・自治区で全体の約5割以上を占めるなど地域的な偏りがある

豚飼養頭数上位8省・自治区(2023年)



資料: 中国国家统计局「中国統計年鑑」

省・自治区別豚飼養割合(2023年)



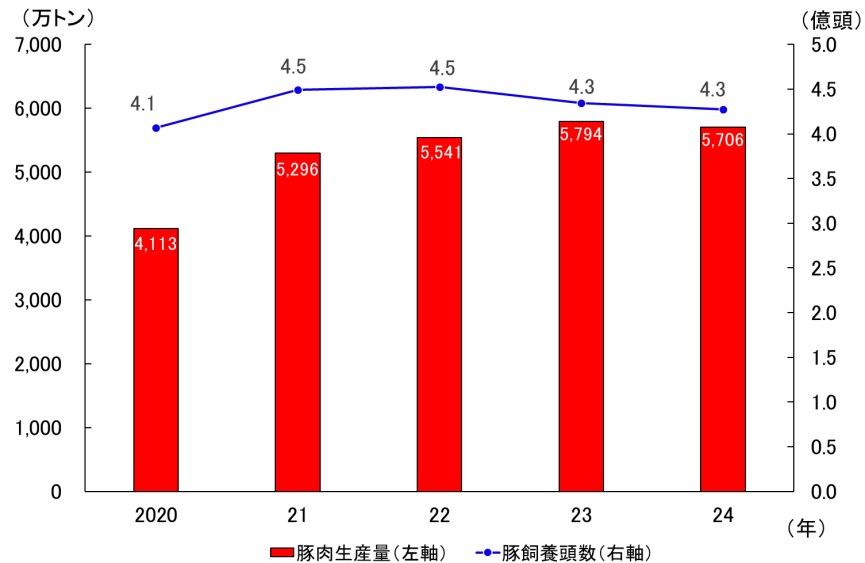
資料: 中国国家统计局「中国統計年鑑」



# 豚飼養頭数と豚肉需給

- 2018年8月に発生したアフリカ豚熱(ASF)が全土に拡大し、19年の豚飼養頭数、豚肉生産量は大幅に減少したが、20年以降、急速に回復
- ASFによる豚肉生産量の減少を受け、2020年以降、豚肉輸入量が大幅に増加したが、国内生産量の回復に伴い減少、24年の輸入量は日、墨を下回る
- 2024年の主な輸入相手先はスペイン(輸入量全体の3割弱)、ブラジル(同2割強)、カナダ(同1割弱)、オランダ(同1割弱)

飼養頭数と豚肉生産量の推移



資料:中国国家统计局「中国統計年鑑」(生産量および飼養頭数(2020~23年))、中国農業農村部「農業展望報告2025-2034」(生産量(24年))、中国国家统计局(飼養頭数(24年))

豚肉需給の推移

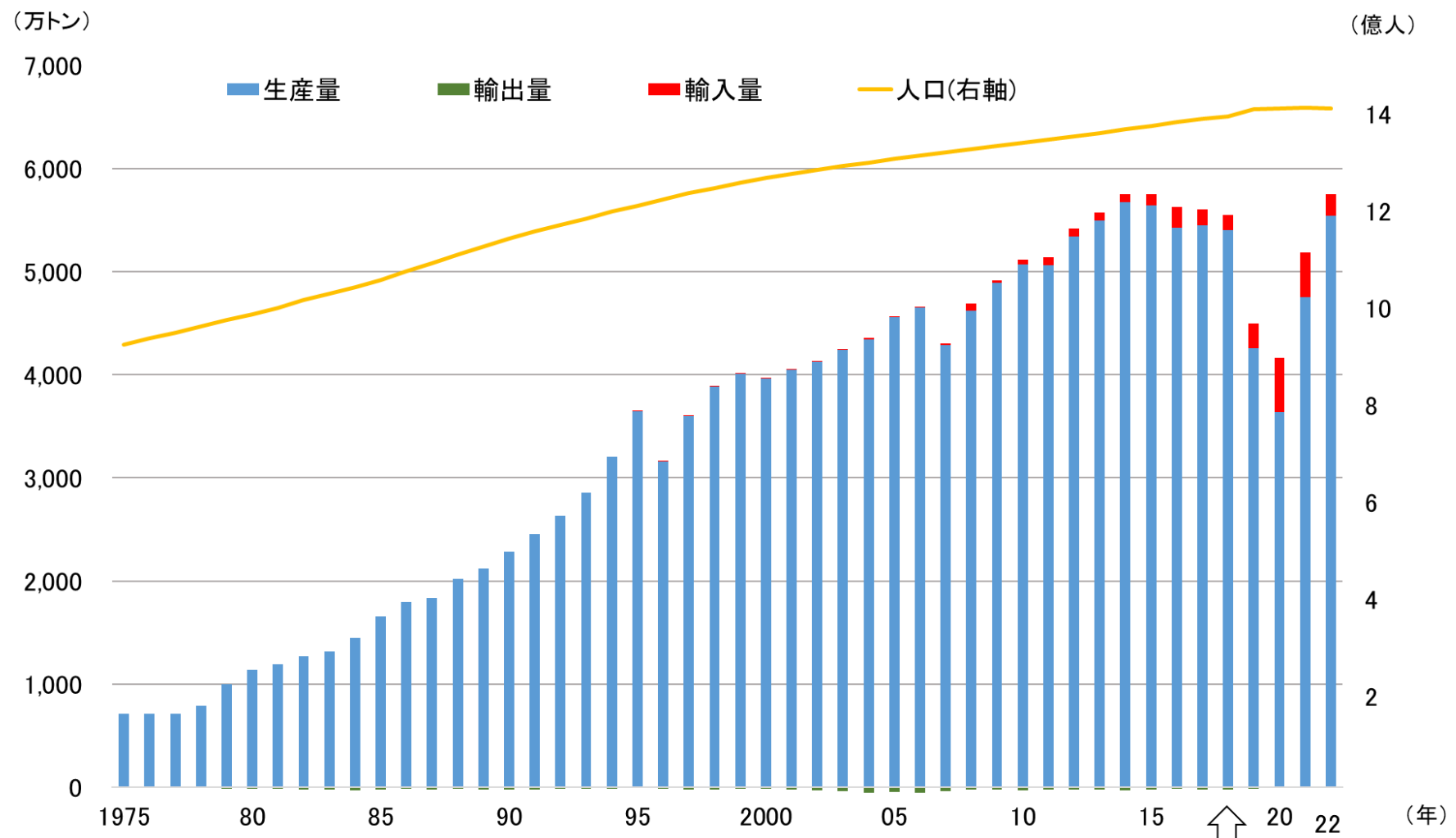
(単位:万吨)

	2020	21	22	23	24
生産量	4,113	5,296	5,541	5,794	5,706
輸入量	528	433	213	190	131
輸出量	10	10	10	10	10
消費量	4,152	5,172	5,743	5,974	5,827

資料:中国国家统计局「中国統計年鑑」(生産量(2020~23年))、中国農業農村部「農業展望報告2025-2034」(生産量(24年))、USDA/FAS「PSD Online」(輸出入量、消費量)  
注:枝肉重量ベース。



# 豚肉の生産・輸出・輸入量および人口の推移



資料: USDA/FAS「PSD online」、中国国家统计局「中国統計年鑑」(人口のみ)  
注: 生産・輸出・輸入量は枝肉重量ベース。

↑  
ASF初発生  
(2018年8月)



# 豚出荷頭数上位20社(2023年)

(単位:万頭)

No.	企業名	本部所在地	出荷頭数
1	牧原	河南省 南陽市	6,382
2	温氏	広東省 雲浮市	2,626
3	新希望	四川省 綿陽市	1,768
4	双胞胎	江西省 南昌市	1,352
5	正大	北京市	1,043
6	德康	四川省 成都市	730
7	天邦	浙江省 寧波市	712
8	大北農	北京市	605
9	傲農生物	福建省 漳州市	586
10	正邦	江西省 南昌市	548

上位5社合計	13,171
市場占有率(上位5社)	18.1%

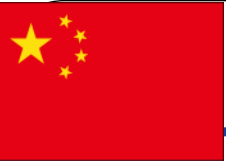
上位10社合計	16,352
市場占有率(上位10社)	22.5%

No.	企業名	本部所在地	出荷頭数
11	中糧	北京市	520
12	揚翔	広西チワン族自治区 貴港市	482
13	海大	広東省 広州市	435
14	農垦	広西チワン族自治区 南寧市	420
15	新五豊	湖南省 長沙市	400
16	唐人神	湖南省 株洲市	371
17	大象	山西省 呂梁市	292
18	天康	新疆ウイグル族自治区 ウルムチ市	282
19	巨星	四川省 樂山市	270
20	桂林力源	広西チワン族自治区 桂林市	268

上位20社合計	20,092
市場占有率(上位20社)	27.7%

中国全体の出荷頭数	72,662
-----------	--------

資料:公表情報、中国国家统计局(中国全体の出荷頭数)を基にALIC作成



1. 中国養豚の概要
2. 養豚ビルに関連する主要政策と建設状況
3. 養豚ビルの実態
4. おわりに



# ビル養豚に関連する主要政策(抜粋)

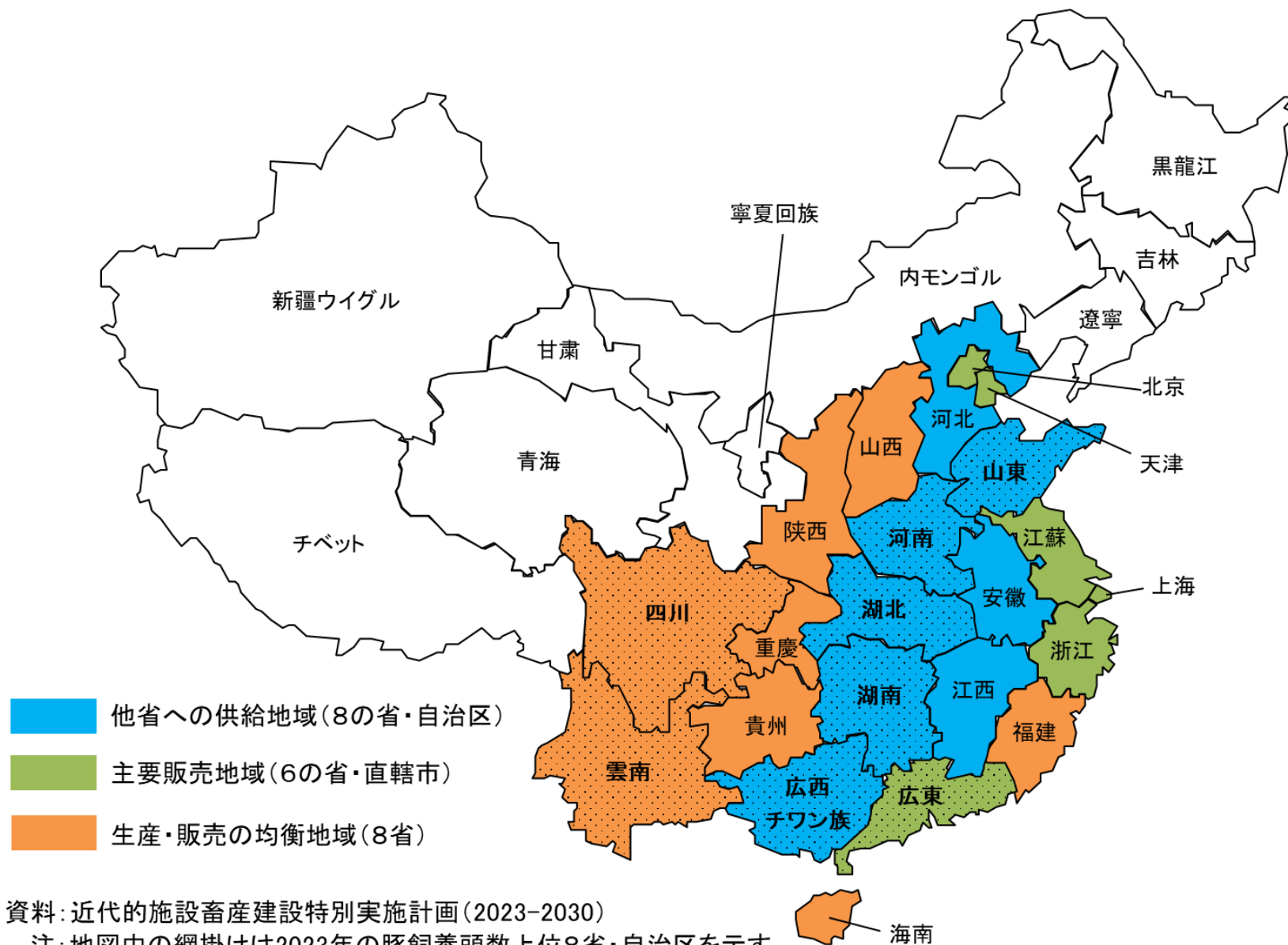


政策	公布日	担当機関	概要
施設農地の管理の問題に関する通知	2019年12月20日	自然資源部、農業農村部	一定の基準を満たせば、飼養施設としての複数階建ての建物の建設を許可する。
全国近代的施設農業建設計画(2023—2030年)	2023年6月9日	農業農村部、国家発展改革委員会、財政部、自然資源部	<p>Ⅲ 重点任务</p> <p>(ii) 高い効率と集約的な利用で、近代的施設に基づく畜産業を構築。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大規模農場施設への転換と改良を加速</li><li>・立体的な養豚・養鶏施設の建設を着実に推進</li></ul> <p>Ⅳ 主要プロジェクト</p> <p>(iv) 高効率・省土地畜産施設建設プロジェクト</p> <p>1. 立体多層型大規模養豚場建設プロジェクト</p> <p>土地の節約と集約的利用、グリーンな飼養と農業サイクルを前提とし、土地資源の状況と合わせて、主要な豚生産地域、土地資源がひっ迫している地域、供給圧力が高い地域を優先し、現地の状況に合わせて養豚ビル飼養技術モデルを採用しつつ、年間10万頭の豚が生産可能な立体多層型大規模養豚場を150カ所建設する。</p>
養豚ビル飼養技術指導意見	2023年6月30日	農業農村部	<p>養豚ビルは、土地の節約、施設・設備の自動化、環境制御、臭気処理・制御などに役立つが、建設コストが高く、建設仕様や基準が欠如しており、バイオセキュリティ上のリスクなどもある。養豚ビルの開発を科学的に導くため、全国養豚産業技術体系は専門家を組織し、以下からなる指導意見を策定した。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 地質探査条件に着目した用地選定</li><li>2. 繁殖雌豚の内部循環と精液の導入</li><li>3. 養豚ビル内外のバイオセキュリティの強化</li><li>4. 生産プロセスの最適化</li><li>5. 飼料輸送の自動化と資材搬出入の管理</li><li>6. ふん尿の処理・利用、臭気処理・制御</li><li>7. インテリジェント制御</li></ol>





# 養豚ビルの建設優先地域

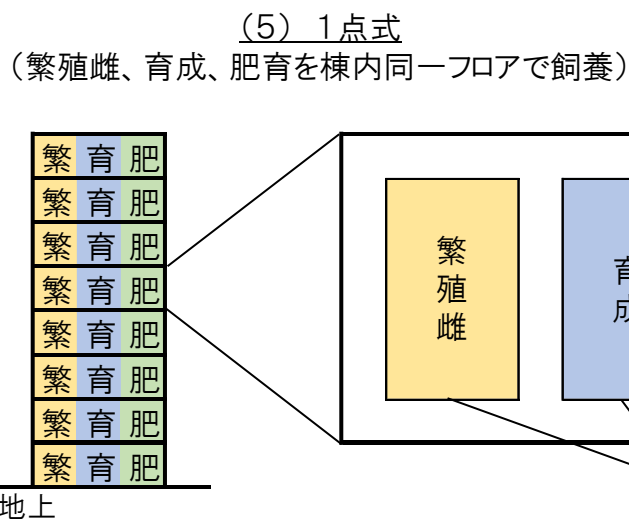
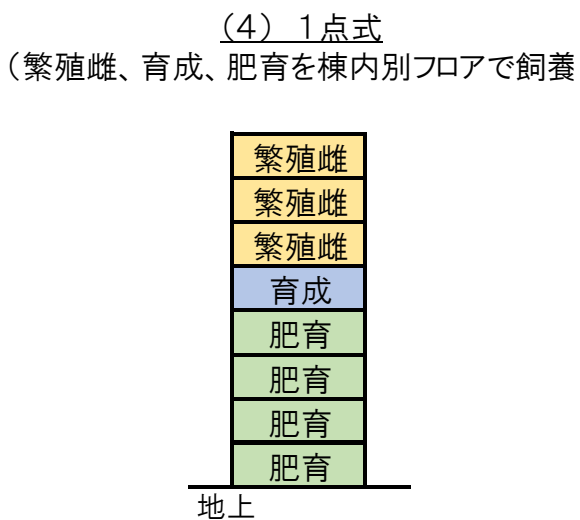
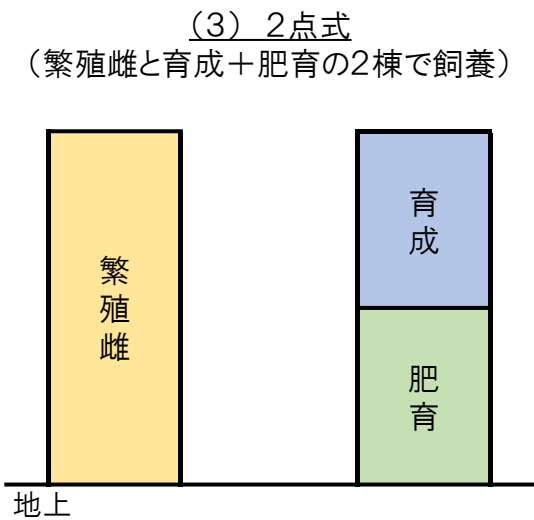
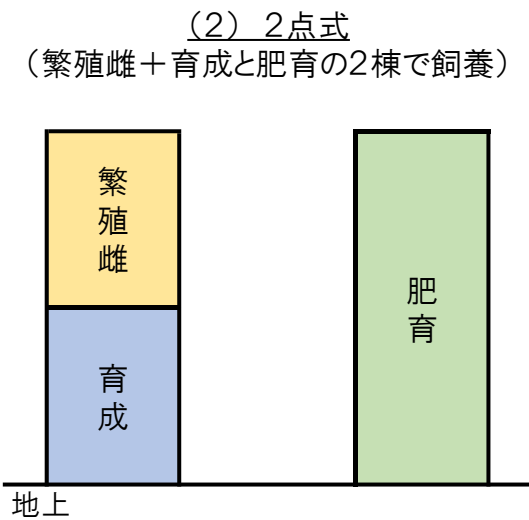
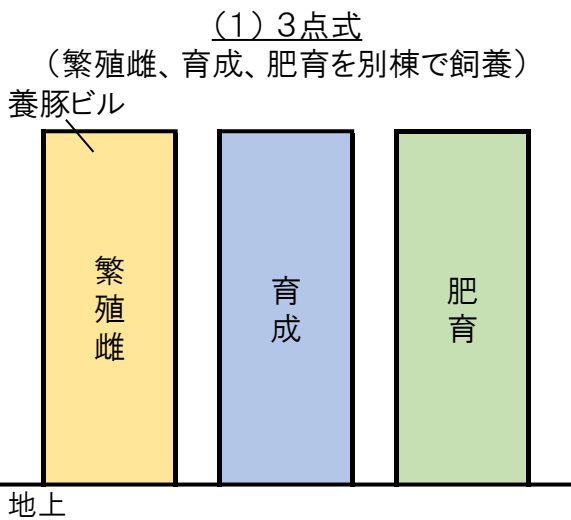


資料: 近代的施設畜産建設特別実施計画(2023-2030)

注: 地図中の網掛けは2023年の豚飼養頭数上位8省・自治区を示す。



# 養豚ビルの主な生産方式(イメージ図)



平面図



# 2020年以降に稼働を開始した主な養豚ビル

項目/企業名	牧原	唐人神	中新	海大	東端
稼働開始	2020年8月	2022年2月	2022年9月	2022年8月	2022年10月
規模	6階建て、21棟	5または6階建て、28棟	26階建て、2棟	5階建て、5棟	6階建て、10棟
所在地	河南省南陽市内郷県	湖南省株洲市茶陵郡	湖北省鄂州市	広東省羅定市	広東省河源市東莞県
投資額	50億元（1,073億円）	20億元（429億円）	40億元（858億円）	25億元（537億円）	20億元（429億円）
年間出荷頭数	210万頭	130万頭	120万頭	100万頭	78万頭
生産方式	1点式 （5-6階：繁殖雌豚 4階：育成豚 1-3階：肥育豚）	3点式 （肥育豚：16棟 繁殖雌豚（妊娠）：4棟 繁殖雌豚（分娩）：4棟 育成豚：4棟）	1点式 （各階で繁殖、育成、肥育まで実施）	肥育豚のみ	2点式 （繁殖雌豚：5棟 肥育豚：5棟）

項目/企業名	京基	越秀	揚翔	金農	共富
稼働開始	2020年11月	2022年12月	2024年3月	2020年11月	2022年10月
規模	4または5階建て、24棟	9階建て、4棟	17階建て、1棟	8または11階建て、4棟	8または9階建て、9棟
所在地	広東省茂明市高州	広東省広州市花都区	広東省広州市南沙区	広東省広州市増城区	湖北省水州市水県
投資額	50億元（1073億円）	13億元（279億円）	16億元（343億円）	13億元（279億円）	4.8億元（103億円）
年間出荷頭数	45万頭	36万頭	35万頭	30万頭	30万頭
生産方式	2点式 （繁殖雌豚：6棟 肥育豚：18棟）	1点式 （9階：分娩豚 7-8階：妊娠豚 1-6階：育成・肥育豚）	1点式 （各階で繁殖、育成、肥育まで実施）	2点式 （繁殖雌豚：1棟 肥育豚：3棟）	2点式 （繁殖雌豚：4棟 育成・肥育豚：5棟）

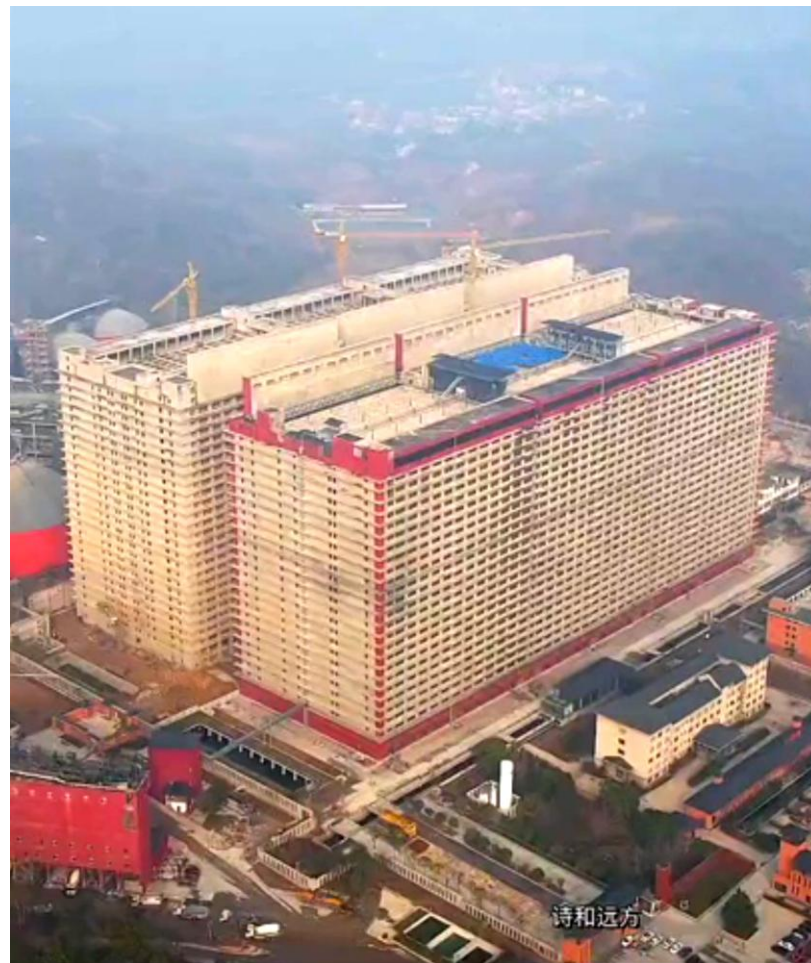
資料：公表情報を基にALIC作成



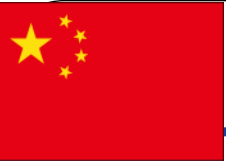
# 中国最大規模の養豚ビルの例



牧原の養豚団地(6階建て×21棟、河南省)  
(大河日報ウェブサイトより)



中新の26階建て養豚ビル(湖北省)  
(抖音(TikTok)より)



1. 中国養豚の概要
2. 養豚ビルに関連する主要政策と建設状況
3. 養豚ビルの実態
4. おわりに





# 揚翔(ヤンシャン)グループ







# 揚翔グループの概要

- 2023年の中国の豚出荷頭数上位企業の第12位の養豚企業であり、中国で初めて成功したとされる養豚ビルを建設
- 1998年に飼料製造企業から事業開始、デジタル分野にも進出しながら、2004年から副業として養豚を開始、現在は養豚が本業
- 年間飼料生産量300万トン、繁殖母豚飼養頭数22万頭、年間豚出荷頭数500万頭



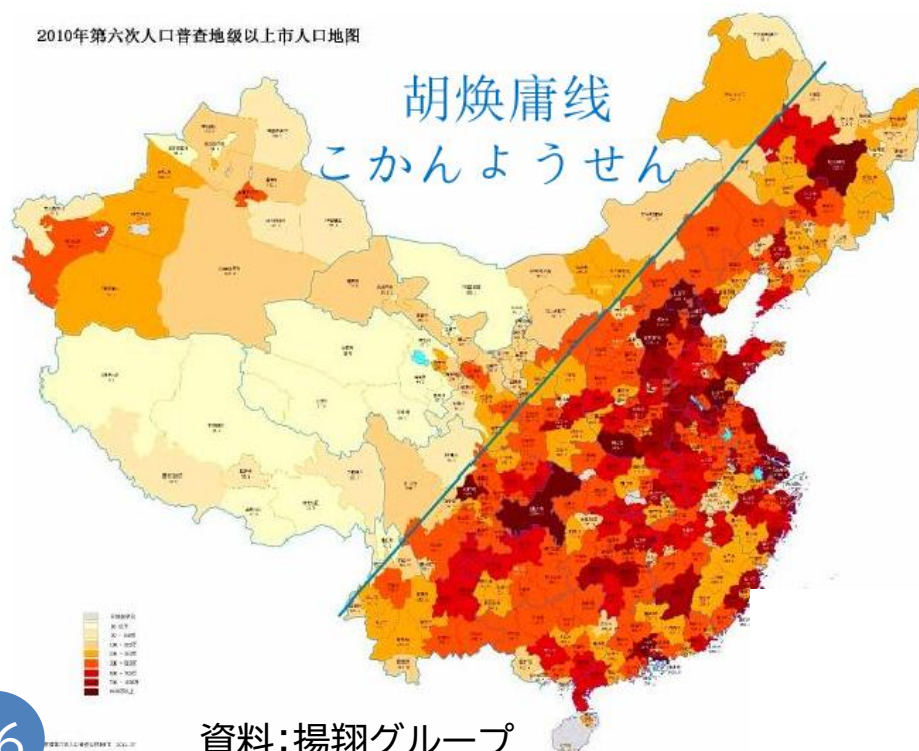
揚翔の養豚ビル(広西チワン族自治区、提供:揚翔グループ)



# 揚翔が養豚ビルを建設した経緯

- 中国では、北部の黒竜江省と南部の雲南省を線でつないだ東側の地域(中国全土の約4割)に人口の9割以上が居住し、養豚が盛んな地域が重複
- 中国全土の半分に満たない土地で世界の約半分の豚を飼養、家畜疾病が定期的に流行するリスク
- 都市部にあるバイオセーフティレベルの高い研究施設に着想を得て、養豚ビルを建設するとの結論に到達

2010年第六次人口普查地级以上人口地图



種雄豚の養豚ビル(提供:揚翔グループ)



# 揚翔の最新型養豚ビルの概要

- 2024年3月、広東省広州市で最新型の17階建て養豚ビルが稼働開始
- 敷地面積140ムー(9ヘクタール)、年間35万頭の肥育豚を出荷、17万人分の豚肉を賄う
- 人口1800万人を超える広東省広州市が食料安全保障の観点から建設を誘致
- 広州市の高級住宅街から河川を挟んで1キロメートルしか離れていないが、臭気などの問題は発生していない



揚翔の養豚ビル(広西チワン族自治区、提供:揚翔グループ)





# 揚翔のスマート養豚(FPF)の概要



資料:揚翔グループ



# FPFで使われる機器の例



従業員用のタグ



繁殖雌豚の個体識別用タグ



自動給餌機



肥育豚の体重測定機



補助飼料の自動給餌機



# 今後の展開

- 中国の食料安全保障に貢献すべく、国内にある人口100万人以上の都市100カ所以上のすべてに養豚ビルの建設を目指す
- 海外での展開も目指し、ロシアや韓国、ベトナムの企業との間で養豚ビルに関する戦略的パートナーシップをすでに締結

(単位：万元)

項目	建築費	設備費	その他	合計	割合	備考
工事費	21,769	22,353		44,122	88.0%	
養豚ビル本体	18,080	17,886		35,966	71.7%	フルセットのF P F 機器を含む
飼料工場	539	971		1,510	3.0%	
環境保全処理施設	1,205	1,992		3,197	6.4%	
補助施設	1,945	1,503		3,448	6.9%	居住施設、消毒施設、塀、道路、屋外水道などを含む
その他工事費			3,824	3,824	7.6%	土地賃貸料、復旧保障金、設計費、土地調査費、監理費、手数料、建設管理費などを含む
予備費	1,088	1,118		2,206	4.4%	工事費の5%
建設投資額	22,857	23,471	3,824	50,152	(A)	

資料：揚翔グループの資料をALICにて改編





1. 中国養豚の概要
2. 養豚ビルに関連する主要政策と建設状況
3. 養豚ビルの実態
4. おわりに



# 養豚ビルで気になった点

1. 従業員の管理
2. 家畜疾病対策の考え方

# ご清聴ありがとうございました

## 【ご注意】

- ◆ 本日の講演内容は発表者の見解に基づくものであり、報告者が所属する組織の公式見解ではありません。
- ◆ 講演内容および資料は情報提供を目的に作成したものです。主催機関および講師は資料作成にはできる限り正確性を期すよう努力しておりますが、保証するものではありません。本情報の採否は各自のご判断によって行ってください。
- ◆ また、万一不利益を被る事態が生じても、主催機関および講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。

# alicからのご案内

## 情報誌

畜産

野菜

砂糖類・でん粉

需給予測や需給動向の解説、海外の動向や国内の優良事例の調査報告、各種統計資料などを掲載しています。なお、情報誌の内容はホームページでも提供しています。



「畜産の情報」「野菜情報」

毎月25日発行

「砂糖類・でん粉情報」

毎月10日発行

## 『海外情報』

alicでは、世界の畜産に関する情報を随時発信しています。



<https://lin.alic.go.jp/alic/week/week.htm>

## メールマガジン登録募集中

畜産、野菜、砂糖類・でん粉に関する情報をメールマガジンで配信しています。

- ☑業界における最新の話題
- ☑最新統計資料
- ☑海外の農業関連情報
- ☑国内外の需給・現地調査レポート



- ・登録無料で、毎月(2回)お届けします。
  - ・登録は二次元コードか下記URLから！
- <https://www.alic.go.jp/form/index.html>